

*** 市民活動推進基金補助事業 ***

令和6年度
補助事業選考のための

公開フリセセッション

日にち：令和6年3月16日(土)

時間：12時30分～17時00分

場所：市役所本庁舎4階 会議室2～5

どなたでも会場・Webで傍聴することができます。

進行

- 12:30 開会
- 12:50 スタート支援(4事業)
- 14:04 ステップアップ支援(6事業)
- 17:00 閉会

お問い合わせ

茅ヶ崎市くらし安心部市民自治推進課協働推進担当(市役所本庁舎4階)

0467-81-7126

E-mail: shiminjichi@city.chigasaki.kanagawa.jp



目 次

進行予定表	1
発表方法及び選考方法	2
市民活動推進基金の概要	4
市民活動推進基金の補助の区分と対象事業	5
市民活動推進基金にご寄附いただいた方々	6
市民活動推進基金補助事業 協力企業	7
茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿	8

スタート支援の部

団体名	事業名	
市民活動団体 ASOVIVART	アートのかで”まち”を元気に！ ASOVIVART (アソビバート)	10
任意団体 わわわのわ	～子どもの遊びと学びにやさしい茅ヶ崎を～ 大人も子どもも豊かに育つまちづくり ★茅ヶ崎アソマナプロジェクト★	18
にじカフェ	「414(よいし)」カードを通して死生観について対話する会	26
特定非営利活動法人 まるほ横丁	まるほ横丁に大集合～いっぱい食べて、いっぱい遊ぼう～	32

ステップアップ支援の部

団体名	事業名	
茅ヶ崎市市民まつり実行 委員会	令和6年茅ヶ崎市市民まつり	38
特定非営利活動法人 SUPUスタンドアップ パドルユニオン	夏休み子供向けSUP体験会 2024	42
ARTノTANEMAKi	Family art day (ファミリー・アート・デイ)	46
マザーアース茅ヶ崎	「生きる力を育む～学校防災」と 「災害時の心理と行動」を知る	52
一般社団法人 リトルハブホーム	ボランティア養成講座 HPの作成	60
ミナスタ	～ミナスタ運動教室～	68

進行予定表

12:30 開会（委員長あいさつ、委員紹介、進行及び選考方法についての説明）

◆スタート支援の部

単位：円

発表時間		団体名	事業名	総事業費	補助金 申請額
12:50	1	市民活動団体 ASOVIVART	アートの力で“まち”を元気に！ ASOVIVART（アソビバート）	201,275	100,000
13:06	2	任意団体 わわわのわ	～子どもの遊びと学びにやさしい茅ヶ崎を～ 大人も子どもも豊かに育つまちづくり ★茅ヶ崎アソナプロジェクト★	142,251	100,000
13:22	3	にじカフェ	「414(よいし)」カードを通して死生 観について対話する会	91,945	76,000
13:38	4	特定非営利活動法人 まるほ横丁	まるほ横丁に大集合～いっぱい食べ て、いっぱい遊ぼう～	200,000	100,000
休憩（10分）					

◆ステップアップ支援の部

14:04	5	茅ヶ崎市市民まつり実行委員会	令和6年茅ヶ崎市市民まつり	685,987	500,000
14:25	6	特定非営利活動法人SUPUスタン ドアップパドルユニオン	夏休み子供向けSUP体験会 2024	1,358,000	500,000
14:46	7	ARTノTANEMAKi	Family art day（ファミリー・ア ート・デイ）	140,593	112,000
休憩（10分）					
15:17	8	マザーアース茅ヶ崎	「生きる力を育む～学校防災」と「災 害時の心理と行動」を知る	391,860	235,000
15:38	9	一般社団法人リトルハブホーム	ボランティア養成講座 HPの作成	633,701	500,000
15:59	10	ミナスタ	～ミナスタ運動教室～	217,952	130,000
休憩（10分）					

16:30 総括質疑

16:50 閉会（委員長あいさつ）

	総事業費	補助金 申請額
スタート支援 総額	635,471	376,000
ステップアップ支援 総額	3,428,093	1,977,000
合計	4,063,564	2,353,000

発表方法及び選考方法



発表方法

スタート支援

◆進行方法

- ①発表団体が、応募事業について説明を行います。（5分以内）
持ち時間残り1分間及び終了の時点で、ベルが鳴ります。
終了のベルが鳴った時点で、発表は終了です。途中でも終了してください。
- ②発表後、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行っていただきます。
（8分程度）

◆説明方法

口頭、模造紙、パソコン（パワーポイント等）等

ステップアップ支援

◆進行方法

- ①発表団体が、応募事業について説明を行います。（8分以内）
残り1分間及び終了の時点で、ベルが鳴ります。
終了のベルが鳴った時点で、発表は終了です。途中でも終了してください。
- ②発表後、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行っていただきます。
（10分程度）
- ③全団体終了後に、総括質疑を行います。

◆発表方法

口頭、模造紙、パソコン（パワーポイント等）等



選考の視点と配点について

① 下表の各視点について、茅ヶ崎市市民活動推進委員会の各委員が評価します。

＜スタート支援＞ 20点満点

選考の視点	説明
1 公益性(5点×2)	事業の成果は、市民や地域の利益になる（つながる）ものか。また、市民や地域のニーズに適した事業であるか。
2 発展性(5点)	補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。
3 費用の妥当性(5点)	対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。 事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。

＜ステップアップ支援＞ 30点満点

選考の視点	説明
1 公益性(5点×2)	事業の成果は、市民や地域の利益になる(つながる)ものか。また、市民や地域のニーズに適した事業であるか。
2 発展性(5点)	補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。
3 費用の妥当性(5点)	対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。
4 事業実現性(5点)	実施可能な方法・スケジュール・予算で事業計画が立案されているか。また、新たな視点や発想から提案されたものであるか。創意工夫がなされているか。
5 自立性(5点)	自己努力による資金確保に努めているか。

- ②審査を行った委員全員の評価結果から平均点を算出し、順位付けをします。
- ③満点の60%（スタート：12点、ステップアップ：18点）を補助事業に適する得点の目安とし、委員会による協議に基づいて採否相当を判断します。なお、「公益性」の得点が60%を下回っている場合は、合計点が補助事業に適する得点に達していても、不採択となる場合があります。

▶▶ 委員が審査する団体について

(茅ヶ崎市市民活動推進委員会規則 第7条)	
○	委員本人、配偶者、3親等以内の親族が所属する団体
○	その他、直接の利害関係がある団体(委員による事前申告)

上記の団体については、公正性を高めるため、次のように扱います。

1	関係する団体の採点を行わない。
2	公開プレゼンテーションでは、関係する団体への質問は行うことはできない。また、委員自身がプレゼンテーションを行うことはできない。
3	選考会議（非公開）では、関係する団体の審議時に退席する。



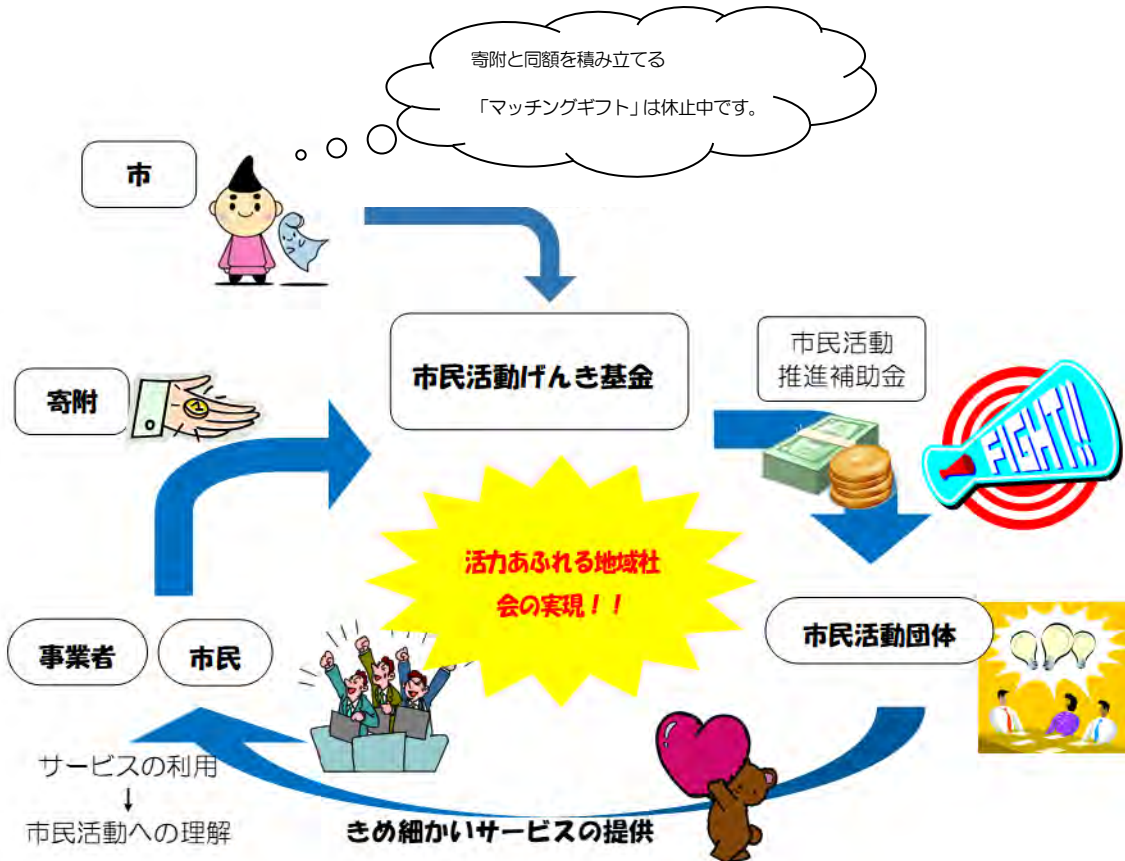
選考結果

- (1) 選考会議の審議結果（事業及び補助額の評価結果）は、市長に報告されます。
- (2) 審議結果の報告を受けて、市長が予算の範囲内で補助額を決定します。
- (3) 選考結果は、応募団体に採否の理由を付けて書面で通知します（4月上旬の予定）。また、茅ヶ崎市ホームページでも公表します。

市民活動げんき基金の概要

「今の活動をもっとたくさんの人に広げたい」
「みんなのための活動を新しく始めたい」
という思いをみんなで応援する仕組みです。

仕組み



寄附にご協力ください

げんき基金の積み立ては、1,500万円からスタートしました。市民活動推進補助金として、毎年補助をしています。仮に、寄附が全くなかった場合には、いずれ基金はなくなってしまいます。

たくさんの寄附が集まれば、それだけ多くの補助ができ、市民活動がもっと“げんき”になります。

税の優遇措置が受けられます

市民活動げんき基金へご寄附いただくと、所得税及び法人税の確定申告（住民税の申告を含む）の際に寄附金控除の対象となります。

寄附の累計額

13,612,813 円
(令和5年12月31日現在)

寄附の方法

- 窓口 茅ヶ崎市役所市民自治推進課
(本庁舎4階1番窓口)
平日 8:30~17:15
- 振込 手数料が無料になる振込用紙（納付書）をお送りします。
お近くの金融機関をご利用ください。

みなさまからのご寄附をお待ちしております！

ちがさ興業
えぼし麻呂

補助の区分と対象事業

区分	市民活動スタート支援	市民活動ステップアップ支援
対象団体	本制度による補助を受けたことがない団体	市民活動スタート支援を受けたことがある団体、または設立後2年以上の団体
対象事業	<p>茅ヶ崎市民が受益者となり得る公益的な事業 公益的な事業とは、「特定非営利活動促進法(NPO法)に定める20分野に該当する事業」及び「その他地域社会の課題の解決を図るために実施する事業」をいいます。 ※構成員のみを対象とした共益的な事業は対象外</p>	
補助 限度額	<p>団体の自立を促進し、活動を軌道にのせるための事業</p> <p>対象となる事業に要する経費から、他の補助金等を控除した額の90%または10万円のいずれか低いほうを上限。 事業内容を審査した上で、予算の範囲内で補助金額を決定します。</p> <p>(例) 総事業費が30万円の場合 $30万円 \times 90\% = 27万円$ $27万円 > 10万円$なので補助限度額は10万円 (例) 総事業費が8万円の場合 $8万円 \times 90\% = 7.2万円$ $7.2万円 < 10万円$なので補助限度額は7.2万円</p>	<p>団体がこれまで行ってきた活動の拡充を図る事業または活動の発展を目的に次の一歩として新たに行う事業</p> <p>対象となる事業に要する経費から、他の補助金等を控除した額の60%～80% (※) または50万円のいずれか低いほうを上限。 事業内容を審査した上で、予算の範囲内で補助金額を決定します。 ※補助率：1回目80%、2回目70% 3回目60%</p> <p>(例) 総事業費が100万円の場合でステップアップ支援を初めて受ける場合 $100万円 \times 80\% = 80万円$ $80万円 > 50万円$なので補助限度額は50万円 (例) 総事業費が50万円の場合でステップアップ支援を受けるのが2回目の場合 $50万円 \times 70\% = 35万円$ $35万円 < 50万円$なので補助限度額は35万円</p>
補助回数	同一団体1回限り	<p>同一団体につき3回まで ※1回目のステップアップ支援を受けた翌年度は振り返り期間(フォローアップ)となるため、補助金の申請ができません。</p> <p>構成員を同じくする団体からの事業の目的・内容が同一とみなされる提案は、同一団体からの提案とみなし、補助金の区分ごとの交付回数に含めます。</p>
補助予算 総額	<p>予算の範囲内で決定 【参考】令和5年度：300万円</p>	

※団体の「設立後2年」の基準日は令和6年4月1日とします。

※同じ団体が同時に複数の事業を応募することはできません。

市民活動推進基金にご寄附いただいた方々

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

寄附者（敬称略）	寄附年月日	寄附金額（円）
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和5年3月3日	5,100
益永 律子	令和5年3月16日	10,000
令和5年度実施市民活動げんき基金補助事業公開ヒアリング設置募金箱	令和5年3月20日	3,200
マルハン茅ヶ崎店・平塚店	令和5年3月20日	100,000
歌声サロン「チーパッパ」	令和5年4月4日	6,228
湘南ヤクルト販売株式会社	令和5年4月20日	9,260
ふるさと納税	令和5年4月25日	10,000
ふるさと納税	令和5年6月25日	12,000
令和4年度実施市民活動げんき基金補助事業実施報告会設置募金箱	令和5年6月26日	500
サザン通りの陽だまりマルシェ	令和5年6月30日	3,345
ふるさと納税	令和5年6月30日	10,000
歌声サロン「チーパッパ」	令和5年7月18日	6,352
ふるさと納税	令和5年7月31日	44,000
匿名	令和5年8月1日	50,000
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和5年9月7日	40,931
ふるさと納税	令和5年9月10日	11,000
ふるさと納税	令和5年9月25日	10,000
茅ヶ崎心の癒しサロン	令和5年10月19日	3,345
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和5年10月20日	58,351
マルハン茅ヶ崎店・平塚店	令和5年10月25日	250,000
歌声サロン「チーパッパ」	令和5年10月25日	6,231
匿名	令和5年10月31日	30,000
益永 律子	令和5年10月31日	10,000
錦織 弘	令和5年11月2日	5,000
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和5年11月14日	9,651
湘南ヤクルト販売株式会社	令和5年11月14日	13,370
ふるさと納税	令和5年12月10日	23,000

ふるさと納税	令和5年12月25日	48,000
ふるさと納税	令和5年12月26日	3,000
ふるさと納税	令和5年12月30日	16,000
	合計	807,864

市民活動推進補助事業 協力企業

市民活動推進基金自動販売機設置協力企業様から、対象となる自動販売機の売り上げの一部をご寄附いただいています。

寄附者（敬称略）	寄附対象自動販売機設置場所
湘南ヤクルト販売株式会社	茅ヶ崎市体育館
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	浜須賀会館 海岸地区コミュニティセンター 小出地区コミュニティセンター コミュニティセンター湘南 茅ヶ崎地区コミュニティセンター 鶴嶺東コミュニティセンター 鶴嶺西コミュニティセンター 高砂コミュニティセンター

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

令和6年2月20日現在

区分	委員名	所属
市 民	やま ぐち あつ し 山 口 敦 史	公募
	とう ま え り 藤 間 英 里	
市民活動を行う ものの代表者	さか た み ほ こ 坂 田 美 保 子	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター
	いち かわ あゆみ 市 川 歩	特定非営利活動法人湘南スタイル
事業者の代表者	かん の あつし 菅 野 敦	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部
	は ば だい すけ 羽 場 大 祐	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
	ふな やま よし のり 船 山 福 憲	株式会社タウンニュース社
学識経験を 有する者	しすく いし つよし 霽 石 剛	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
	わか ばやし ひで とし 若 林 英 俊	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
	やま た しゅう じ 山 田 修 嗣	文教大学国際学部

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">2023年12月25日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: center;">所在地</p> <p style="text-align: center;">提出者 名称 市民活動団体 ASOVIVART 代表者氏名 代表 吉田裕美子</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	3)まちづくり／6)学術・文化・芸術・スポーツ／13)子どもの健全育成
事業の名称	アートので”まち”を元気に！ ASOVIVART （アソビバート）
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	市民活動団体 ASOVIVART
連絡先	
設立年月日	2022年 3月 15日
構成員数	7 人（うち役員 4 人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 5 人 その他 2 人
情報の公開の方法	<input type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input type="checkbox"/> その他の方法（茅ヶ崎サポセンへの登録、Instagram）
設立の経緯	代表の吉田は茅ヶ崎にて子供の美術教室や、乳幼児対象の子育てサロンを運営しています。たくさんの子供達に接することや自身の子育ての中で、子供たちの未来のために多世代間でインクルーシブに交流する場を作りたい考え、賛同する友人・家族でこの活動をスタートしました。
活動の目的	子ども達が安心して楽しくのびのびと成長できる地域づくりを目的として活動しております。 『遊びやアートのイベントを通して、困った時は助け合い、嬉しい時は一緒に笑えるような、多世代の繋がり』を作れたら嬉しいと考えています。 人間の多様性を自然に受け入れた感性を育んでいくことが、思いやりを持った社会を形成するためにとっても大切だと考えています。 子供たちが、国籍などのバックボーンが異なる方、障がいを持った方、年齢の離れた方など、学校に通っている生活の中だけでは機会の少ない交流を地域の中で積極的に行い、一緒に遊んで、楽しんでもらえる経験をしてもらえる活動を目指しています。
主な活動内容	子供も大人も一緒に、多世代の方々が障がいの有無にかかわらず参加できる、インクルーシブなアートワークショップ・イベントの開催。
年間決算額	約3万円
補助金の状況	無し

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業について</p>	<p>「うみがめロボットアートフェスティバル（仮題）」：リアルな手作りうみがめロボットの遊泳パフォーマンスを主軸に、アートワークショップ、音楽ライブ、出店などを伴ったインクルーシブイベントの開催。</p> <p>2024年6月の開催を目標に活動中。</p> <p>（場所）茅ヶ崎市内 Ex.まちスポ茅ヶ崎・茅ヶ崎市役所前広場・中央公園等</p> <p>（対象）幅広くどなたでも。年齢や、障がいの有無に関係なく参加できる内容です。50名～150名程度を想定。</p> <p>（時間）10:00～17:00を想定</p> <p>（費用）参加は無料。ワークショップ（¥1,000-～¥5,000-）や出店者からの出店料（¥500-～¥5,000-）などで、事業収入を想定しています。</p> <p>【衛生管理、安全管理等】</p> <p>障がいを持たれた方の参加を前提としているため、各種施設の職員の方達と対応に関して知見の連携を日頃より行なっております。</p> <p>参加者に対してマスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。</p> <p>ケガに備えてレクリエーション保険に加入します。</p> <p>緊急時の対応マニュアルを整備しスタッフと共有します。</p> <p>上記内容を出演者・出展者にも周知します。</p>
<p>事業の背景について</p>	<p>現在当団体は、長年に渡り海洋生物のロボットによるパフォーマンスや講演・メディア出演等で環境保護活動を行なっている、「林正道」氏の活動「海洋”楽”研究所」 (http://minnairukatoasobitai.web.fc2.com/index.html) という活動の一部を引き継ぐために、直接指導をいただきながら当方スタッフで海洋生物のロボット制作や、活動に伴う関連業者との関係構築を行なっています。</p> <p>以前に、林先生のパフォーマンスを長野こども病院の病院際にて拝見させていただいたことがあり、インクルーシブイベントを行うために、幼児～老若男女、興味を持って参加できる、とても良いパフォーマンスだと感じたことや、先生の子供と地球環境への思い・取り組みに感銘を受け、依頼交流をさせていただいておりました。</p> <p>この取り組みの最初の成果として、上記のイベント開催に向けて活動しています。</p>
<p>事業の目的や効果について</p>	<p>これまで、子育てサロンや美術教室で活動している中で、父母たちから寄せられた茅ヶ崎市中心部においてのさまざまな年代、学区の子供たちの交流に加えて多世代間での交流やインクルーシブに参加できる場が少ないという状況に対しての解決の一助、そして認知の向上を目指しています。</p> <p>単に、アートやイベントを楽しむだけでなく参加者みんなが海をはじめ</p>

	<p>とした環境汚染問題を、“海が近い”という、茅ヶ崎中心部ならではの環境を生かして考えることにより、未来への想像力を養い、市民活動の活性化が実現できることを希望しています。</p>
<p>事業の広報について</p>	<p>(使用予定の媒体にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> チラシ・ポスター <input type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> Facebook <input checked="" type="checkbox"/> Twitter</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他のSNS (<input type="checkbox"/> Instagram)</p> <p><input type="checkbox"/>市の広報紙 <input type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input type="checkbox"/>口頭にて伝達</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 (タウンニュース掲載)</p> <p>*チラシ・ポスターの配布先に関して、市内外のお店 (主に飲食店)、公共施設、保育園等を予定しております。</p>
<p>今後の展望について</p>	<p>先述の林先生の活動を団体にて一部引き継ぐことにより、費用面での負担が増大しています。当団体の持続的な活動の実現を目標に、2024年度にNPO法人として法人格を取得し、各種補助金への応募や、イベントへの協賛企業獲得などを課題としています。</p>
<p>事業の実施体制について</p>	<p>総括 代表者 1人</p> <p>会計 1人 総務 2名</p> <p>広報 (チラシ・パンフレット・はがき作成、配架・発送、SNS等の運営) 4人</p> <p>【協力者】</p> <p>ボランティアスタッフ5~10名、その他各参加団体・出展者等</p>

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
事業収入	15,000	ワークショップ参加費・出店料等 参加費 ¥1,000×10 出店料 ¥500×10
補助金収入	100,000	市民活動推進補助制度(スタート 支援)
団体収入	86,275	団体負担金
合計	¥ 201,275	

支出

科 目	金 額	内 訳
物品費・製作費	181,075	工芸用ラテックス L-5000 3118円×10個 ハイテック HS-646WP 完全防水サーボ 5520円×20個 7.2v ニッケル水素バッテリー 400mAh 3499円×5個 INTEX長方形レクタングラフフレームプール 450×220×84cm 22000円×1台
宣伝費	15,200	チラシ制作等 茅ヶ崎サポセン フルカラー ¥26 x 200枚 個人所有インクジェットプリンタ 替インク ¥1,000x5本 用紙 ¥2,500 x 2 箱
使用料	5,000	まちスポ茅ヶ崎 1時間500円×10時間
合計	¥ 201,275	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

- 備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。
- 備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

第4号様式の2（第7条関係）

物品購入理由書

1	物品名	見積金額	使用頻度
	INTEX レクタングラフフレームプール 450×220×84cm	¥22,000-	プール設備がない会場でのイベント実施時に必要となる。
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	海洋生物のロボットによる遊泳パフォーマンスを行う際、参加者が見物するためのプールが必要なため。	団体で所有し、事業の実施の際に継続して使用する。	
2	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
3	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
4	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い

物品関連資料



○ハイテック HS-646WP 完全防水サーボ
→ ロボットの中身に使用。モーターが入っていて稼働部に必要



○7.2v ニッケル水素バッテリー
→ ロボットの電源



○工芸用ラテックス L-5000
→液体のゴム。表面の造形に使用。



○レクタングラフレームプール
→畳むことのできる大型プール
ロボットを泳がせるパフォーマンスに使用

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p>2023年12月25日</p> <p>(あて先)茅ヶ崎市長</p> <p>所在地 提出者 名称 任意団体 わわわのわ 代表者氏名 代表 菊地 萌</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(2)社会教育の推進を図る事業 (3)まちづくりの推進を図る事業 (10)人権の擁護又は平和の推進を図る事業 (13)子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	～子どもの遊びと学びにやさしい茅ヶ崎を～ 大人も子どもも豊かに育つまちづくり★茅ヶ崎アソマナプロジェクト★
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	2024年4月1日から2025年3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
- (2) 構成員の名簿
- (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	任意団体 わわわのわ
連絡先	
設立年月日	2023年10月31日
構成員数	大人 11人 (うち役員4人)
	市内在住(在勤及び在学を含む。)者 9人 その他 2人
情報の公開の方法	<input type="checkbox"/> ホームページへの掲載(現在制作中、2024年春公開予定) <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法(Facebook,instagram @wawawanowalabo)/オンライン寄付サイト https://syncable.biz/associate/wawawanowa
設立の経緯	現・代表(家庭科教員)が仕事の傍ら子育て、教育、地域づくりなどをテーマにした対話会や勉強会を開催していた中コロナ禍に突入。地域の催しや自治会活動などが一切ない地域の中での小学校1年生の子どもが不登校になり退職。地域の人との交流や仲間を見つける居場所として、茅ヶ崎里山公園&友人たちに持ちかけて2023年8月にはじめた「小出里山プレイパーク」が最初の活動。その後、2023年10月に任意団体を設立。メンバーそれぞれがコロナ禍に「第一子の出産」「子どもの不登校」などを経験して感じた「孤独と違和感」と、暮らしの当事者として感じていた「あったらいいな」が共通していたことが、私たちが自分たちの暮らす地域で団体設立に踏み切り活動をスタートするきっかけとなりました。
活動の目的	すべての人たちが安心して、遊び・学び・暮らすための「地域社会」と「人と人のつながり」をつくること
主な活動内容	1 みんなをつなぐ遊びと居場所事業 2 みんなの学び場事業 3 みんなで子育て事業 4 みんなの暮らしとまちづくり事業 5 子ども声を聴く(子どもアドボケイト)事業 ※2023年度活動の一部 7月 小出コミセン祭り出店 スーパーボールすくい&駄菓子屋さん 8月31日 茅ヶ崎里山プレイパーク 夏の会 80人来場 10月8日 茅ヶ崎里山プレイパーク 秋の会 78人来場 12月1日 幸せになるための憲法のお話会 13名参加 2023年12月、2024年1月、2月、3月 遊ぶように学ぼう研究会(アソマナ研) 2024年1月8日/3月20日 茅ヶ崎里山プレイパーク
年間決算額	円
補助金の状況	なし

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>大人も子どもも幸せに育つキーワードは「遊んでたら学んじやった！！」 略しては「アソマナ」★茅ヶ崎にそんな遊び場や学び場をつくる「茅ヶ崎アソマナプロジェクト」はじめました♪ここでは大人も教える人をやめて、子どもと一緒に遊んだり学んだりしています。これからの私たちの暮らしの中の「遊び」と「学び」の在り方を問い直しませんか？みんなで茅ヶ崎のアソマナ文化をつくろう！</p> <p>(1)里山あそびのひろば&青空寺子屋 【毎回10～20名程度の参加を見込んでます】 (日程)毎週金曜日10時半～14時頃 (場所)シオジ農園内敷地内(茅ヶ崎市芹沢) (参加費)無料(寄付を随時受け付けています) ※制作予定ののぼりや看板はこちらの会場&駐車場で使用します。また、設置場所の関係でのぼりではなく看板や旗に変更になる可能性があります。</p> <p>(2)自主上映会「ゆめパのじかん」【延べ90名程度(大人30名子ども60名)】 ※上映会終了後に対話会も実施予定です。 (日程)学校の長期休み期間中の1日2回上映を予定 (場所)茅ヶ崎生涯学習センターうみかぜテラス(活動拠点に近い小出コミュニティセンター、茅ヶ崎里山公園パークセンターでの上映も検討中) (参加費)1000円 中学生以下無料</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>23年夏から地域のハブ拠点となる県立茅ヶ崎里山公園の協力のもと「茅ヶ崎里山プレイパーク」をはじめました。これまで2回開催しましたが、当初私たちが想像していた以上の人が集まり、様々なつながりと想いの循環がうまれました。(3回目と4回目のチラシ添付します) ★茅ヶ崎里山プレイパークの過去参加者数(参照:開催報告書・写真) 1回目(23.8.31):80人 2回目(23.10.8):78人 ※1回目は「#学校ムリでもここあるよキャンペーン2023居場所情報サイト(多様な学びプロジェクト)」に掲載、当日は茅ヶ崎、藤沢、横浜、鎌倉から不登校の子どもと親も参加しました。 https://cocoaru.org/ibasyo/2023.ibasyo_075/ 茅ヶ崎里山プレイパークの様子から、里山地域には「人が集まり地域と世代をつなぎ、多様な経験と人のつながりを作る場」が必要だと改めて感じたことが事業を続け広げていこうという原動力となり、企画を通じて、地域や社会の時代変遷、今の状況と今後の課題を知ったことがこのプロジェクトを始めるきっかけでした。 【参考】平成28年度ちがさきげんき基金補助事業「子どもが元気になるまちを創ろう！」(22世紀茅ヶ崎の会)</p> <p>(1)里山あそびのひろば&地域の寺子屋 コロナ禍の活動制限により遊び場・集う場・人と出会う場が少なくなった里山地域で地域の人誰でものんびり遊んだり学んだりして自分らしくすごせる場所を定期的に開催します。みんなが孤独や不安を感じることなく暮らせる「つながり」と「育ち合い」のある地域づくりの拠点をつくります。</p> <p>(2)「ゆめパのじかん」上映会 茅ヶ崎の子どもたちが安心して自分らしく過ごせる「ゆめパ」のような場所を作りたい。私たちの目指す一つの理想像でもある「ゆめパ」について様々な方たちと想いを交わし、実現に向けたつながりをつくるために企画しました。私たちの事業を地域で進めるにあたって、活動のベースの考えの一つにもなっている「子どもの権利」について理解をしてもらうための大人と子どもの学び合いの場にもな</p>

	ればと考えています。
事業の目的や効果について	<p>【アソマナプロジェクトの目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイワーカー(遊び場づくりの専門家)、保育者、教育者の経験と専門性をつなげて「遊びは学びだ!」という茅ヶ崎市民の理解と共感の輪を広げる。 ・茅ヶ崎市北側の里山地域を「自由な遊びと学びの場」としてとらえ、魅力的な里山資源の活用の方法を模索していくきっかけとする。 ・子どもの遊び場や学び場(里山・空き地・公園・学校・公共施設の在り方など)について大人が考えるきっかけとする。 <p>【アソマナプロジェクトの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び・学び(時に休息)のつながりを大人も子どもも共に理解し、寛容になることで、すべての人たちが安心して遊び・学び・暮らすことができ、生きやすくなる ・子どもの権利や居場所の意味を大人も子どもも共に理解することで子どもの多様な育ちを受け入れ、すべての子どもの特性に合った自立の道をみんなで支えることができる。 ・子どもの多様な遊びや学びへのあたたかいまなざしをもつ大人が増える <p>【それぞれの事業の目的と効果】</p> <p>(1)里山あそびのひろば&青空寺子屋 大人も子どもも共に遊び・学び合うことを大切に過ごす場を定期的に関催することで、子どもたちの多様な育ちをみんなで支える輪ができます。また、子どもたちだけでなく、子育て世代や高齢者など孤独になりがちな大人も集う場ができ、地域のつながりをもつことができます。 また、様々な事情で学校外で育つ茅ヶ崎の子どもたちの学び場や居場所としても活用してもらうため、多様な学びプロジェクトの「街のとまり木」に登録手続きをし「とまり木マップ」に掲載予定です。 【参考:街のとまり木サイト(実施団体:NPO 法人 多様な学びプロジェクト)】</p> <p>(2)「ゆめパのじかん」上映会 神奈川県川崎市にある子どもたちの居場所「川崎市子ども夢パーク」=通称「ゆめパ」。家庭でもない、学校でもない、第三の子どもたちの居場所を公設民営で運営している先進的なモデルとして、全国の自治体から注目を集める「ゆめパ」の日常を3年にわたり撮影したドキュメンタリー映画。子どもの豊かな遊びや学び姿を通してそれを支える大人の関わり、あり方について茅ヶ崎市民が考えるきっかけ作りが目的です。また、行政・地域社会・学校・家庭、様々な立場で子どもの育ちを支える人たちと子どもたちが、それぞれの役割について考えるとともに、今後に向けた対話の機会としたいと思います。</p>
事業の広報について	<p>☑チラシ・ポスター □パンフレットなどの刊行物 ☑ホームページ ☑Facebook □Twitter ☑他のSNS(Instagram) ☑市の広報紙 ☑市の広報掲示板 ☑口頭にて伝達 ☑その他(オンライン寄付サイト掲載、小出コミセン祭り出店) ① ホームページ(現在作成中、2024年春公開予定) ② SNS(InstagramとFacebook @wawawanowalabo) ③ オンライン寄付サイト Syncable ④ パンフレット・チラシの作成と配布</p> <p>《チラシの配布先》 ・チラシは内容により1000~2000部程度印刷 ・チラシの配架 240部 公民館(5館×20部ずつ)、コミュニティセンター(11館×10部ずつ)、茅ヶ崎市民活動サポートセンター(30部) ・地域の回覧用 500枚</p> <p>現在、プレイパークは小出コミュニティセンターに協力してもらい、地域の回覧に入れてもらうことと、コミュニティセンターのつながりで地域の公共施設、高齢者施設、福祉施設、幼稚園保育園学校にお渡ししています。 ・その他、共感して下さるお店や地域の福祉施設、学校・幼稚園・保育園オーガニックガーデン、公共施設、企業や個人にもチラシの配布を依頼して、活動の認知を広げていきます。</p>
今後の展望について	<p>~地域の「あったらいいな」を一緒に作っていく地域の輪(わ)を作る~ この活動の主体になっているのは地域で暮らすふつうの母たちです。コロナ禍で第一子を出産したり、コロナの感染対策下の暮らしに孤独を感じたり、規制の多</p>

	<p>い社会や学校になじめず子どもが不登校になるなど、暮らしの当事者としてここ数年で感じた「あったらいいな」が共通していたことが、私たちが地域でのこの活動をスタートするきっかけとなりました。茅ヶ崎市・藤沢市の北部の里山地域を主な活動場所として誰もが安心して過ごせる居場所や遊びと学びの場をつくり、人のつながりの中で人を育む地域社会をつくる活動をしています。</p> <p>また、私たちは地域の人たちの昔からの「たすけあい」「お互い様」な暮らし方への回帰が様々な地域の問題を解決することにつながると考えています。地域みんなの暮らしに身近な遊びや学びについて改めて問い直すことで、「困ったら誰かにやってもらう」ではなく「自分たちで助け合う」「自分たちでこれからの地域文化を作る」という意識をもつ人が増えたらいいな、と思っています。</p> <p>【私たちが目指す遊びと学びの在り方】 ◎禁止事項をなるべくなくす→自由に遊び学べる空間を作る ◎自由に自分で考え作り出す→創造性を育てる ◎多様＆多世代な人をつなぐ→様々な人との交流を通じて遊び学ぶ ◎遊びと学びの垣根をなくす→「遊びは学びだ!」という意識をもつ(プレイヤーと教育者の連携) ◎大人も遊び学ぶ地域文化をつくる→大人も生きやすくなる! ◎地域の特性や季節、地域の方の様々な特技や活動を活かした遊びと学びのあり方を模索する→地域を元気に!!</p> <p>【運営方針】 私たちの活動の資本は「人」です。そして、みんなが継続的に関わりながら、より良い活動を続けていくための運営費をどう作っていくかを模索しています。それぞれの暮らしの中で無理のない地域づくりへの参加方法としてオンラインでの寄付サイトで寄付を募り始めました。 (https://syncable.biz/associate/wawawanowa) また、地域で暮らす人たちや運営にかかわる人たちとの意見交換やミーティングを大切に進めていこうと考えています。また、その地域の特性に合った小さな遊び場や学び場がたくさんある地域社会を目標に、地域の場づくりをしたい人の想いと行動をつないでいきたいと思っています。</p>
<p>事業の実施体制 について</p>	<p>【運営】役員 4 名(運営ミーティングを月1回以上実施) 代表 1人/副代表 1人/会計1人/監査 1人/広報(代表が兼任) 1人 ※保育士免許所持者・・・2名 ※教員免許所持者・・・1名(小学校&中・高家庭) ※プレイリーダー経験者・・・2名(他自治体にてプレイリーダーとして勤務経験あり)</p> <p>【事業実施体制】 (1)里山あそびのひろば&地域の寺子屋 スタッフ2名以上 ②自主上映会 スタッフ 10 名 ③子どもの権利のお話会 スタッフ10名</p> <p>【協力者】 大人メンバー8人、子どもメンバー6名、地域ボランティア4名程度 ※随時、コミュニティーセンターなどで活動の説明会を行い、活動に賛同してくれる有志の地域ボランティアを募っていきます。</p>

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
団体収入	12251	
事業収入	30000	「ゆめパのじかん」上映会 1000円(大人)×30人 = 30000円 0円(中学生以下)×60名 = 0円
助成金・補助金	100000	ちがさき市民活動げんき基金
合 計	¥142,251	

支出

科 目	金 額	内 訳
映画上映料	50000	「ゆめパのじかん」上映料
旅費	11100	映画上映会 香川駅～茅ヶ崎駅～うみかぜテラス(JR相模線片道190円、えぼし号片道180円を利用) 往復740円×15人
	9160	コピー用紙 500枚×5束 2500円(寺子屋で使うオンラインドリル印刷用)、 ロール模造紙(30m)2500円、付箋紙1000枚 1520円、マジック8色セット 2セット 2640円 等文具(寺子屋・対話会で使用)
物品費	8986	さとやまあそびの広場用あそび道具 折り紙1000枚 1936円・シャボン玉液 1320円 ベイゴマ用台 3000円・ブルーシート 1365×2枚
	11424	のぼり4枚製作購入費用(ポール・注水台つき)
	17520	書籍代 内訳:寺子屋用参考書(1冊でしっかりわかるシリーズ 1320円×6冊、ひとつひとつわかりやすくシリーズ1100円×6冊)、子育てや教育に関する本 3000円
印刷製本費	19661	①里山あそびのひろば&寺子屋 2000枚 5379円 ②自主上映会 1500枚 4708円 ③★団体リーフレット(A5仕上折加工) 2000枚 9574円
使用料・賃借料	14400	映画上映会でうみかぜテラス(2F集会室1-2)で試算 1440円×10時間
合 計	¥142,251	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

茅ヶ崎里山プレイパーク



プレイパークってどんなところ？

地域のみなでつくる
のびのびと自由に遊べる遊び場

赤ちゃんからお年寄りまで、
誰でも来られてつながりあえる
みんなの居場所

私たちが大切にしていること

みんなにとって居心地がいい
場所であること

子どもたちの「やってみたい」
という気持ちを大切にすること



【主催団体】

NPO団体 わわわのわ ～みんなで作る遊びと学びと暮らしの輪～

私たちはすべての人たちが、安心して、遊び・学び・暮らすための
「地域社会」と「人のつながり」を作ることを中心に活動しています。

他にはこんなことやっています。

- ・移動式プレイパーク
- ・子育てひろば「里山ひろば」
- ・青空寺子屋
- ・遊ぶように学ぼう研究会
- ・子どもの権利の勉強会
- ・子どもの対話会

わわわ情報発信中



@wawawanowalabo

ご支援はこちらから
受け付けています。



<https://syncable.biz/associate/wawawanowa>

ご協力・ご理解・ご支援のお願い

★参加するみなさまの一人一人の思いやりと気持ちを持ち寄って、みんなの想いが気持ち
良く循環する活動を地域のみなさまとしていきたいと思っております。みなさまのあたたかいご協
力とご支援をお願いいたします。

★私たちは、学校に行っている・行っていないに関係なく、誰でも自由に遊び学べる場を開
いています。子どもたちの多様な育ちへの地域の皆様の理解があって、子どもたちは安心
して育ち、過ごすことができます。あたたかく子どもたちの多様な育ちを見守っていただけ
ますようよろしくお願いいたします。

～できるときに、できるひとが、できることを～

みんなの居場所や寺子屋づくりに興味がある、支援して下さる方を随時募集中です。
お気軽にお尋ねください。

@chigasaki_satoyama_playpark



情報発信中！

Instagram



CHIGASAKI-SATOYAMA PLAY PARK

茅ヶ崎里山 プレイパーク

開催時間：両日とも10～15時

第3回 2024年1月8日 (月・祝)

「冬の里山のお正月遊び」

場所：茅ヶ崎里山公園パークセンター前

たこあげ・ふくわらい・こままわし・はこいた・カルタ・ベーゴマなどなど♪
◎簡単作りワークショップ【30人限定】 参加費300円/当日受付

第4回 2024年3月20日 (水・祝)

「里山の春、み〜っけ！」

場所：茅ヶ崎里山公園 谷の家前広場

紙芝居 (谷の家で11時) ・草花あそび・楽器・ベーゴマ・ピクニックなどなど♪

※屋外での開催のため、雨天・荒天の場合には主催者判断で中止となります。

※小学生以上は子どもだけで参加できませんが、行事保険加入のため、

本人の名前と保護者の電話番号を受付名簿に子ども自身に記入していただくことが
必要です。保護者の方のご理解と参加するお子さんへの説明をお願いします。

《同時開催》

0円お譲り会 (ぐるり)

- ★「家ではもう使わないけれど、誰かに使ってほしいもの」の0円お譲り会です。
- ★置いてあるものは自由にもらって帰れます。
- ★お持ち込みいただける方は、当日持ってきて頂いて、残ったものはまたお持ち帰りください。

主催

わわわのわ

～みんなで作る遊びと学びと暮らしの輪～

協力

神奈川県公園協会・小田急ビルサービスグループ

問い合わせ先：NPO団体 わわわのわ事務局
wawawanowakids@gmail.com

OK→服・おもちゃ・本・生活雑貨 など
NG→状態が悪いもの、もう使えないもの

「遊ぶように学ぼう研究会」って？

子どもたちの力を育むキーワードは

「遊んでたら学んじやった！」

そんな遊び場や学び場づくりを研究しています！
大人は教える人をやめて一緒に遊ぶ人になってみよう！
よかつたらご一緒に♪愛称は「アソマナ研」！

研究員の紹介

◎たばたとみ

キャンプやスポーツが原体験。北海道教育大学岩見沢校にて冒険教育を学ぶ。卒業後、NGO活動でフィリピン先住民への支援経験から、民族自身（大人も子ども）の体験から形作られる学びがエンパワーメントになると気づく。その後、フレネ教育やイエナプラン教育を、大和市小学校教諭として学級経営に部分的に取り入れられたり、「学校スタンダード」に翻訳されたりしながら過ごし、育休に突入。育休をきっかけに、学校から一歩引いた、母としての立場も踏まえながらイエナプランを学び直している真っ最中。今年6月から日本イエナプラン教育協会事務局。1歳8か月の母。

私たちが「アソマナ研」！
メンバー募集中♪



◎まくちもえ

元家庭科教員。人生初めての教員生活は26歳青年海外協力隊で派遣された南米ペネズエラの小さな村の小さな小学校。その後、神奈川県内中高一貫校での家庭科教員として勤務。現在は学校から離れ、家庭・地域・社会から子どもたちの育ちを見守る日々。子育て&子どもの不登校というきっかけで、イエナプラン教育、地域のプレイパーク、フリースクールなどたくさんのお出合いがあり、今は「NPO団体わわわのわ」を仲間たちとやりながら「子どもも大人も幸せな生き方」について改めて考えています。イエナプラン教育協会 公式神奈川（湘南）サークル 世話人。教員（小学校・中高家庭科）/保育士/子どもアドボケイト基礎講座修了 趣味は旅と読書とおいしいもの。小1と小3の娘がいます。



【主催団体】

NPO団体 わわわのわ ～みんなでつくる遊びと学びと暮らしの輪～

私たちはすべての人たちが、安心して、遊び・学び・暮らすための「地域社会」と「人のつながり」を作ることを目的に活動しています。

他にもこんなことをやっています。

- ・茅ヶ崎里山プレイパーク
- ・子育てひろば・青空寺子屋
- ・遊ぶように学ぼう研究会
- ・子どもの権利の勉強会
- ・子どもの対話会

わわわ情報発信中



@wawawanowalabo



https://syncable.biz/associate/wawawanowa

活動へのご支援も
随時受け付けています。



～できるときに、できるひとが、できることを～

みんなの居場所や寺子屋づくりに興味がある、支援してくださる方を随時募集中です。

お気軽にお尋ねください。

学校の先生・行政・保護者・地域の大人
みんなで学ぼう！考えよう！！

イエナプラン教育×遊び場づくり×オランダ・フィンランド

遊ぶように学ぼう研究会



vol.1 2023年

12月16日（土） 13:30~15:30



vol1
申し込みフォーム
QRコード

日本のイエナプラン校・イエナプランの教室見学を通して見えたもの
～実践の振り返りと今後～

田畑智美（大和市小学校教諭 & 日本イエナプラン教育協会事務局）

※終了後～16:30 交流会やります♪お時間ある方ぜひご参加ください。（自由参加）

vol.2 2024年

1月20日（土） 13:30~15:30



vol2
申し込みフォーム
QRコード

オランダ&フィンランドに行ってきました！
教育視察報告会

田畑智美（大和市小学校教諭 & 日本イエナプラン教育協会事務局）

参加費：一般1500円/学生500円

会場：茅ヶ崎公園体験学習センター うみかぜテラス

★申し込みは前日正午までをお願いします。

★今回託児はありませんが、お子様連れの参加も可能です。

イエナプラン教育とは？

ドイツで発祥のオランダで普及し、公教育に大きな影響を与えた。一人ひとりの子をその子らしく最大限の可能性を引き出して育てることを目指したビジョンであり、人々が互いを尊重して生きる共生社会を学校共同体として具現化したもの。

<イエナプランの基本的な要素>

- 異年齢学級 ○4つの基本活動（対話・遊び・仕事・復し） ○リズム的な時間割
- ワールドオリエンテーション（協働で探求）
- 生と学びの共同体（学校は生活の場・保護者と教員で作られる学校共同体）
- 【リビテルズ直子著「今こそ日本の学校に！イエナプラン実践ガイドブック」より抜粋】



主催：遊ぶように学ぼう研究会（NPO団体わわわのわ～みんなでつくる遊びと学びと暮らしの輪～）

日本イエナプラン教育協会 公式神奈川（湘南）サークル

後援申請中：茅ヶ崎市教育委員会、藤沢市教育委員会

問い合わせ先：NPO団体 わわわのわ事務局 wawawanowakids@gmail.com

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年 12月 26日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: right;">所在地 提出者 名称 にじカフェ 代表者氏名 代表 錢坂則子</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(1)保健、医療または福祉の増進を図る事業 (2)社会教育の推進を図る事業 (13)子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	「414(よいし)」カードを通して死生観について対話する会
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和6年 4 月 1 日から 令和7年 3 月 31 日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	にじカフェ
連絡先	
設立年月日	2022年 5 月 14日
構成員数	4人（うち役員 2 人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 4 人 その他 0 人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（ Facebook・インスタグラム・公式LINE ）
設立の経緯	看護師として多くの方の終末期に関わる中、やりたいことが出来ないと諦めてしまっている方がたくさんいると実感。どんな状況でも、立場でも、同じように大切にされるべきひとりの人間。病気でも、高齢者でも、身体が不自由な方も、子どもも、同じように過ごせる、やりたいを諦めない、お互い様で集える場を私たちが作ろうと決意し「にじカフェ」を設立。より地域に信頼され、関わりを持ち、貢献できるような活動をするため団体を設立しました
活動の目的	・がんでも、認知症でも、障がいがあっても、介護されていても、全ての人が偏見なく「人生を最後まで楽しむ」ことができるように、いつでも誰でも安心して過ごせる場を作って応援する。 ・地域に開かれた循環型コミュニティの場(カフェ)を通して、利用者が社会的に孤立することなく豊かな関係とつながりを保ちながら安心して暮らせるように支援をする。
主な活動内容	・「人生を最後まで楽しむ!」を応援するコミュニティの場(カフェ)の運営 ・つながりフェスを通して、がん・介護・障害・グリーフケアなどさまざまな分野の専門家と必要としている方をつなぐ場作り ・子どもの心とおなかを満たす場づくり ・ピンクリボン活動団体の支援や出張講座など外部とのつながりや交流・循環をうむ活動
年間決算額	480万円(2022年5月～2023年5月)
補助金の状況	なし

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する口にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>つながりフェスの中から、死生観を語り合う事業を実践します。 テーマは「414(よいし)」カードを通して死生観について対話する会</p> <p>※つながりフェスとは、にじカフェの主事業のひとつ。がん・介護・グリーフケア・障がいなどをテーマに知らないを知ろう、知ることでできる人ができ事をやり、お互い様の関係を作っていこうというイベント。</p> <p>※414カードとは、幸ハウス富士が作成したカードで、「最期まで自分らしく、大切なものを諦めない」ための死生観対話カード。 https://sachihouse.org/action/414card/</p> <p>※幸ハウス富士とは、静岡県富士市にある川村病院・緩和ケア病棟「いまここ」に隣接するがん患者やご家族の居場所で NPO 法人幸ハウスが運営。病気になっても病人にならない社会をつくることをミッションに様々な活動をされている団体。https://sachihouse.org/fuji/</p> <p>【開催概要】 日程： 令和6年5月未定 令和6年10月18日（全2回 単発可） 場所： コミュニティカフェにじカフェ 茅ヶ崎市幸町13-20 時間： 10時～13時を予定(10時～10時30分導入 10時30分～11時30分グループワーク 11時30分～12時振り返り 12時～13時ランチ交流会を予定) 対象： 市内の地域包括支援センターや訪問看護ステーションの看護師やケアマネージャー・職員、介護施設勤務の介護士などの専門家・各種支援活動団体職員(障がい・福祉など)（一般参加も受付可） 各回15名程度まで 費用： 参加費500円(ランチ交流代金) 講師： 幸ハウス富士共同代表 植竹真里さん</p> <p>※講師紹介 看護師 香川医科大学看護学部卒業。北里大学東病院、静岡県立がんセンター勤務。看取りの多い病棟で様々な経験を積む。その後訪問看護師を経、出産を機に家庭へ。現在は幸ハウス富士共同代表であり川村病院緩和医の川村真妃先生との出会いから看護師に復帰。幸ハウス富士の共同代表兼看護師として勤務されています。</p> <p>※ランチ交流会も組み込む理由として にじカフェのカフェを始めた理由の一つとして「人が集まる場所には温かい食べ物と飲み物がある方が断然いい!!」という考えがあります。人と人が安心して心を開いて温かく交流するためには必須と考えています。学びの場では緊張もしていると思います。学びの最後にみんなで同じものを食べながらお話することで、より心を通わせることができると考えランチ交流の時間も設けたいと思い計画しました。</p> <p>【衛生・安全管理】 ・アルコール消毒を設置 ・マスク着用、アルコール消毒については個人の判断に任せる ・車椅子の移動時、杖歩行時は介助できる体制を整える ・施設内に車椅子常備・手すりあり</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>・お看取りの多い病棟勤務で、人生の最期に修行のように白い壁を見つめ、ご家族の面会も少なく、ベッドで一人過ごすことが多い患者たちとの関わりの中で様々なことを考えさせられます。ある患者は、「美</p>

	<p>美味しいコーヒーを飲みに行きたいけれど、酸素していて、車椅子だし、一人では行けないから諦める」と言って毎日缶コーヒーを飲んでいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方患者支援で関わる看護師や介護士も業務に追われる日々に、目指す関わりができないと疲弊しやめていく人が少なくないのも事実 ・ご家族の中には元気なうちにどうしたいのか聞いておけばよかったと話される方もいます。 ・日本では「死」について話すことは一般的にタブーでネガティブなものと捉えがちだと感じています。ですが、死を見据えて考えることで「今」どのように生きるのか、自分が大切にしたいことは何なのかに気づくことができ、その考えをご家族や周りの支援する方々と共有することで、その人らしくを全うできるのではないかと考えています。 <p>私たちは生まれた時から死に向かって生き、死は全ての人に平等に訪れます。その間の今生きている時間をどのように過ごすのかはその人次第。「最後に会いたいのは誰ですか?」「その時何をしていますか」「どこにいますか」「あなたの大切なものは何ですか?」</p> <p>そのような自分との対話を通して、またグループワークで他の人の考え方を聞きながら一人ひとりが大切にしたいことに気づく。気づくからこそやりたいことを諦めないで今を大切に生きることができるのではないかと考えています。</p> <p>ご本人も、その方の大切な人にも後悔を残さないために、心の中を理解する機会を作りたい。特に患者や高齢者そのご家族の側で寄り添う専門家の方々にこそカードを通して死生観について考え、寄り添いケアにも役立てて欲しいと願っています。ご本人とご家族だけではなかなか聞き取れない「大切にしたいこと」「願い」を聞き取る姿勢を常に保つことで、現状私が感じている修行が減りその人らしくを全うするを応援するにつながると考えます。</p> <p>にじカフェは【人生を最後まで楽しむ!】を応援するコミュニティの場。その一つのきっかけとなるよう今回の事業を計画しました。</p>
<p>事業の目的や効果について</p>	<p>今回は患者やそのご家族を支援する専門家や関心のある方を対象としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家の方々自身が死生観について考えることでその方自身が大切にしたいことに気がつくことができる ・グループワークを通して他の方の意見を聞くことで視野が広がる ・交流会の時間を持つことで他職種・他事業所や個人間のつながりができる。顔を合わせて交流することで日常での業務連携がスムーズになり、また悩み・問題の共有ができるようになる。支援者自身の精神的な孤独や重圧の予防にもつながる ・患者や高齢者が直面するあらゆる選択する場での寄り添いに役立てることができる。(例えば、食事が取れなくなった時に点滴しますか(中心静脈栄養・静脈点滴・皮下注射)・経管栄養にしますか・胃ろうを作りますか・医療行為は何もしないで家で過ごしますか・施設を探しますか(有料なのか、特別養護老人ホームなのか、サービス付き施設なのか)またいざという時に積極的な心肺蘇生をしますかなど)医師と連携しながら、ご本人やご家族の死生観に寄り添うことが現状よりもやりやすくなる ・近くにいる専門家が死生観に寄り添うことで、その方がその人らしくを全うするのを支援できる ・長い目で見て、健康寿命と寿命の差を埋めらめるようになることを考える(本人が希望しない終末期になりにくくなる)

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1. 補助金収入 2. 参加費 3. 団体収入	76,000円 15,000円 945円	市民活動推進補助制度 500円×15名×2回 団体負担金
合計	91,945円	

支出

科 目	金 額	内 訳
1. 謝金	40,000円	講演費用（全2回分）
2. 交通費	6,080円	講師の交通費 JR富士駅からJR茅ヶ崎駅 （往復3,040円×2回）
3. 物品費	10,025円	414カード4セット購入代金 （1,980円×4・送料600円含） クリアファイル 978円 A4 0.15mm 100枚入り（モノタ ロウ） コピー用紙 527円 A4 白500枚入り（モノタロウ）
4. チラシ印刷費	8,520円	プリントパック A4光沢紙厚み標準両面 （注文時に変動あり） 500部4,260円×2回
5. チラシ郵送費	12,320円	140円×44ヶ所×2回 （各所A410枚+クリアファイル）
6. ランチ交流会食材費	15,000円	お一人500円×参加者15名分× 2回
合計	91,945円	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年12月7日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: center;">所在地</p> <p style="text-align: center;">提出者 名称 特定非営利活動法人 まるほ横丁 代表者氏名 理事長 松本 将志</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	<ul style="list-style-type: none"> ・保健、医療又は福祉の増進を図る事業 ・社会教育の推進を図る事業 ・子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	まるほ横丁に大集合～いっぱい食べて、いっぱい遊ぼう～
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
- (2) 構成員の名簿
- (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	特定非営利活動法人 まるほ横丁
連絡先	
設立年月日	令和5年2月8日
構成員数	10人（うち役員 5人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 5人 その他 5人
情報の公開の方法	<input type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（ Instagram ）
設立の経緯	これまでの教員としての経験より普通校に通う児童生徒・保護者と特別支援学校に通う児童生徒・保護者の交流の場が少なく、お互いのことを知る機会が少なくと感じてきた。そこから障害のある人と障害のない人が、積極的に交流したり、学びの場に共に参加したり、共生社会が実現できる場が必要なのではないかと考えるようになった。また、在学時は放課後等デイサービスを利用できていたのに対し、休日の過ごしで困っている人も多い。学校と比べると事業所の活動時間は短かったり、保護者の高齢化やひとり親の増加もあつたりと、保護者負担も大きい。これらの課題から「共生社会が実現できる場づくり」「障がい者等の日中活動の場づくり」「障がい者等家族の支援の場づくり」ができないかと法人を立ち上げ、活動を始めた。
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の実現に向けた居場所づくり ・障がい者等の日中活動の場の確保 ・障がい者等家族の支援
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に一つだけのオリジナルピザづくり ・みんなで体を動かそう！
年間決算額	
補助金の状況	団体名： 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業について</p>	<p>「まるほ横丁に大集合～いっぱい食べて、いっぱい遊ぼう～」 (内容) ピザづくり、スポーツ等 (日程) 毎月第3日曜日（雨天時第4日曜日）を予定 (2024年4月21日、5月19日、6月16日、9月15日、 10月20日、11月17日 2025年2月16日、3月16日) 計 8回 ※変更あり (時間) 10:30 ～ 14:30 (場所) 茅ヶ崎市芹沢 2491 (前茅ヶ崎市議員山田悦子さんの農福連携のための畑の広場を使用させていただきます。) (対象) 障がい児者・障がい児者等の家族 15名程度 (費用) 大人 1,500円、特別支援学校卒業生・中学生 500円、小学生以下0円</p> <p>2023年度実績 4月2日、5月14日、10月22日、11月26日</p> <p>ピザ作りのためのテーブル・椅子は NPO 会費で購入したものや、参加者持参のものを使用しているが数が足りていない現状である。そのため、不足分を購入することにより、参加者が落ち着いた環境でピザを作ったり、食べたり、休憩したりできるようにする。</p> <p>【衛生管理・安全管理等】2023年11月30日茅ヶ崎市保健所相談済み。 ・手洗いの徹底、アルコール手指消毒を呼びかける。 ・体調不良者は活動に参加しない。 ・食材の温度管理を徹底する。 ・トング等を使い、食材には直接触れない。 ・加熱後は他の人が作ったピザには触れず、自分で作ったピザを自分で食べる。 ・会員に食品衛生責任者の資格者2名。 ・ケガ等に備え、ボランティア行事用保険に加入する。</p>
<p>事業の背景について</p>	<p>小学校通常級担任、小学校特別支援学級担任、特別支援学校担任の経験より、通常校に通う児童生徒・保護者と特別支援学校に通う児童生徒・保護者の交流の場が少なく、お互いのことを知る機会が少なく感じてきた。そこから障害のある人と障害のない人が、積極的に交流したり、学びの場に共に参加したり、共生社会が実現できる場をつくりたいと考えた。</p> <p>また、特別支援学校進路担当の経験より、卒業後の休日の居場所・過ごしで困っている人が多いことや、卒業後に仲間と交流し日々の悩みを相談しながらそれぞれにあった学習を行う場が非常に限られていたりすることを知った。同時に、在学時は放課後デイサービス等を利用し、放課後や休日の過ごしがあったが、卒業後は学校と比べ事業所の活動時間が短かったり、休日の過ごしがなかったりなど保護者の負担が大きくなる。さらに保護者の高齢化、悩みの場が少ないなどの課題もあり、保護者負担は計り知れない。</p> <p>そこで、ピザづくりやスポーツなど、障がい児者やその家族が楽しめる事業を実施することにより、障がい児者の休日の居場所や保護者支援につながればと考え、この事業を計画している。</p>
<p>事業の目的や効果について</p>	<p>・休日の居場所、過ごしが難しい方にとっての居場所となったり、コミュニティを広げたりすることの一助を担っている。 ・引きこもり傾向の方に参加してもらうことにより、社会とのつながりをうむことができている。 ・保護者の悩みを聞いたり、保護者同士で共有したりすることができていることにより、保護者支援になっているのではないかとと思われる。 【ピザづくり】 見る触る嗅ぐとありとあらゆる感覚を刺激するピザ作り</p>

	<p>粘土遊びのような感覚で、ピザ生地を手でこね形を作っていくピザ作りは、小さな子どもや障がい者、高齢者にも気軽に安全に体験できる料理の一つです。小麦粉のサラサラとした手触り、ピザ生地の弾力、トッピングの野菜の色合い、窯の中で焼き上がっていく変化、香り、そしてアツアツを口にする感覚、味わい。文字通り五感をフルに使って楽しめるのがピザ作りです。障がいのある子どもたちの発達の観点からも手を使った活動はとてもよい効果を期待できます。手は「突き出た脳」と言われセンサーの役目をする感覚受容機が1万7千個もあるからです。楽しみながら手を使って、脳の刺激し、血流量も増えて発達を促します。楽しい体感や脳への効果にとどまらず、日々当たり前のように繰り返す「食」への興味や関心を深める体験にもなってくれればと願っています。広場でみんなで作るので、わくわくする気持ちを共有できます。他の人の作ったものが見やすいのもピザの良いところ。あの人のピザ美味しそう～次はあれをトッピングしてみよう～！と活動意欲も自然に湧いてきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生地をこねたり、材料を切ったり等それぞれの役割を果たすことにより、責任感が生まれる。 ・ピザ窯を使うことにより、火の熱さを感じることができる。 ・世界に一つだけのピザが美味しくできあがることにより、自分に自信が生まれる。 ・自分が口に入れるものを自分で作る。食べたい具材を自分で選ぶことで食べることに楽しみをもつ。 <p>【スポーツ】</p> <p>ピザを食べ終わると、広場でサッカーやフリスビー、ラグビーなどで体を動かしている。卒業後は体を動かすことが少なくなるので、とてもよい運動になっている。保護者にとってもスポーツに参加したり、保護者同士・スタッフと情報共有等をしたり等、有意義な時間となっている。</p>
<p>事業の広報について</p>	<p>(使用予定の媒体にチェック)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物 <input type="checkbox"/>ホームページ <input type="checkbox"/>Facebook <input type="checkbox"/>Twitter <input checked="" type="checkbox"/>Instagram <input type="checkbox"/>その他のSNS () <input checked="" type="checkbox"/>市の広報紙 <input checked="" type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input checked="" type="checkbox"/>口頭にて伝達 <input checked="" type="checkbox"/>その他 (卒業生に個別連絡、DM) </p> <p>現在は Instagram や卒業生への DM でのお知らせになっているが、市の広報紙や広報掲示板へ掲載することにより、より多くの方に参加していただけるよう取り組みたい。</p>
<p>今後の展望について</p>	<p>まだ法人を立ち上げてから1年も経っておらず、手探りの状態で活動を進めているが、毎月活動を楽しみにしてくれている方がいたり、新たな参加者と新しいつながりが生まれたり等、意義のある活動ができているのではないかと考える。今後も季節に合ったイベントや学びのある活動を開催することにより、障がい児者等にとっての価値ある居場所となるよう取り組んでいきたい。また、ちがさきの地域福祉プランでも掲げられている地域共生社会の実現に向け、子ども・お年寄り等あらゆる人が集まれる場所を目指していきたい。</p>
<p>事業の実施体制について</p>	

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
事業収入	100,000	参加費 (1,500円×5人+500円×10人)×8回=100,000円
補助金収入	100,000	市民活動推進補助制度
合 計	¥200,000	

支出

科 目	金 額	内 訳
保険料	7,600	ボランティア行事用保険 950円×8回
食糧費	160,000	20,000円×8回
印刷製本費	11,000	チラシ1000枚(ネット印刷)2,100円 ★団体PRパンフレット1,000枚(ネット印刷)8,900円
物品費	1,400	手指消毒用アルコール(500ml×3本)1,400円
	8,000	アウトドア ベンチ 2脚
	12,000	アウトドア テーブル 3台
合 計	¥200,000	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年12月26日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: right;">所在地 寺子屋茅ヶ崎ビル</p> <p style="text-align: right;">提出者 所在地 茅ヶ崎市市民まつり実行委員会 代表者 委員長 城田禎行</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(3) まちづくりの推進を図る事業 (19) 市民活動団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業
事業の名称	令和6年茅ヶ崎市市民まつり
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	茅ヶ崎市市民まつり実行委員会
連絡先	
設立年月日	昭和59年12月1日
構成員数	11人（うち役員6人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 9人 その他 2人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（市民活動ハンドブック掲載希望あり）
設立の経緯	昭和59年4月に中央公園が開園しました。その際に青年会議所の呼びかけにより実行委員会が形成され、オープニングフェスティバル開催しました。翌年からは大岡越前祭の事業の1つとなり、主催者たる茅ヶ崎市から事業委託を受け、実際の運営者となるため設立しました。
活動の目的	春の市民まつりは、市民による市民のためのおまつりを標榜し、各種団体（福祉団体を含む）が活動の資金獲得や日頃の活動を披露する、あるいは市の関係する課かいが市民生活に直接資する情報の広報する場を提供してきました。また、参加条件に市民活動ガイドブックへの掲載の項目を入れるなど、直接あるいは間接的に茅ヶ崎市の市民活動を支援することを目的としています。
主な活動内容	毎年4月第三日曜日に大岡越前祭の事業として第一カッター黄色公園（中央公園ほか）にて物販、ステージ、展示などのコーナー（ひろば）を設置して、「茅ヶ崎市春の市民まつり」を実施。2011年は東日本大震災復興支援事業として開催。2020年～2022年は新型コロナ対応のため休止。
年間決算額	令和4年度は0円（非開催のため）（0～1,134,220円 過去の最小値と最大値）
補助金の状況	団体名： なし 補助金の交付を受けた年度： なし 補助金の名称： なし

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>仮称：令和6年茅ヶ崎市市民まつり 日時：令和6年11月3日（日）10時～15時 荒天中止 場所：第一カッターさいろ公園（茅ヶ崎市中央公園） 概要：ステージのひろば 演奏・演技等 15～20団体程度 模擬店のひろば（一般・福祉団体）50～60店程度（食販あり） 市民活動ガイドブック掲載団体など市内の市民活動団体 応募多数の場合、実行委員会にて選考 実行委員の他にボランティア20名程度 （当日は、統一したTシャツなどを着用して識別する） 集客：市役所周辺の回遊者含め 2～3万人程度 準備期間・資料編纂：令和6年4月～令和7年2月末日 安全対策；当日は、来場者対策として警備員を配置</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>茅ヶ崎市は、事業のあり方や効果を検討した結果、既になんでも夜市と秋のふれあいまつりは廃止しました。平成6年度は春の市民まつりを主催しないことを理事者決定しており、予算計上しない見込みです。今後、市民まつりをどのようにしていくかは、市民まつり実行委員会に委ねられています。そこで、秋のおまつりの主要メンバーとともに自主事業として「令和6年茅ヶ崎市市民まつり」を開催し、今後の新しい市民まつりを模索することといたしました。</p>
<p>事業の目的や効果 について</p>	<p>市民による市民のためのおまつりとして、11月3日に開催します。会場では、各種団体（福祉団体を含む）が活動の資金獲得や日頃の活動を披露する、あるいは市の関係する課かいが市民生活に直接資する情報を広報する場を提供（予定）します。 あわせて、今後の市民まつりのあり方を市民活動団体や市民の視線で見直し、改革するチャンスとします。また、市民活動団体が自ら屋外イベントを開催する際の基礎情報を整理編纂します。 資料は、コピー印刷したものを30部作成し、併せてデータ化したものの媒体にしたCD-Rで10枚を作成する。</p>
<p>事業の広報 について</p>	<p>（使用予定の媒体にチェック） <input checked="" type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物 <input checked="" type="checkbox"/>ホームページ <input checked="" type="checkbox"/>Facebook <input type="checkbox"/>Twitter <input type="checkbox"/>その他のSNS（ ） <input checked="" type="checkbox"/>市の広報紙 <input type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input type="checkbox"/>口頭にて伝達 <input checked="" type="checkbox"/>その他（ちがさきFM、タウンニュース、神奈川新聞等）</p> <p>おまつりの開催については、茅ヶ崎FMなど有料媒体も利用し、市内外への広報に努めます。媒体取材については、積極的に対応します。</p>
<p>今後の展望 について</p>	<p>令和7年以降の開催は、実施体制を含めて現時点未定。 安全・安心な形で令和6年茅ヶ崎市市民まつりを「ありがとう市民まつり」として開催したうえで、今までのおまつりを一旦振り返り、資料を整理編纂します。これにより、従前から所有する資器材の有効利用や開催に際して必要な手続きや手順をデジタル化して公表します。これにより、保険や警備等最低限の金額で開催できるノウハウを公表し、実践します。</p>
<p>事業の実施体制 について</p>	<p>実行委員長 1名 副実行委員長 5名（会計・一般団体・福祉団体・ステージ・事務局） 実行委員 5名（会場・接遇・記録・メディア・ボランティア） ・甲種防火管理者2名（うち防火対象物点検資格者1名） ・防災士3名（うち防災管理点検資格者1名） ・食品衛生管理者1名 ☆警備業者、司会者、看護師、PA操作者はそれぞれ委託します</p>

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1 団体収入1	85,987	団体 事業予算繰入金
2 団体収入2	20,000	協賛金・寄付金(本事業に関する祝金など)
3 事業収入	500,000	市民活動推進補助制度
4. 参加者負担金	80,000	1団体1,000円を想定
合 計	¥685,987	

支出

科 目	金 額	内 訳
1. 警備委託料	133,760	会場周辺警備(横断歩道等)を警備業者に委託
2. 謝金	20,000	看護師、司会者 謝金 @10,000
3. 印刷製本費	16,500	郵送物・資料印刷消耗品等 印刷9,900円(コピー8,800円、CD-R媒体1,100円) 文具6,600円(油性ペンセット、ラミネートフィルム、テープ、カッター)
4. 通信運搬費	10,600	郵便切手(84円×100枚、110円×20枚)
5. 保険料	100,000	傷害保険料: イベント保険(食販あり、来場者30,000人型施設賠償なし)
6. 使用料・賃借料	351,760	本部テント、机・椅子、発電機、消火器(88,880円)、 PA一式(搬入・搬出、機器操作オペレータ込み262,880円)
7. 広告宣伝費	44,000	委員・スタッフ・ボランティア用Tシャツ(40着44,000円)
8. 消耗品代	9,367	スタッフ軍手、ビニル袋、ガムテープ、模造紙、タックシール、長3、角2封筒等
合 計	¥685,987	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">2023年12月26日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: center;">所在地</p> <p style="text-align: center;">提出者 特定非営利活動法人SUPUスタンドアップパドルユニオン</p> <p style="text-align: right;">代表者氏名 理事長 細井 隆</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(4)観光の振興を図る活動 (6)学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 (13)子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	夏休み子供向けSUP体験会 2024
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	2024年04月01日から2025年03月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
- (2) 構成員の名簿
- (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	特定非営利活動法人SUPUスタンドアップパドルユニオン
連絡先	
設立年月日	2009年 8月 24日
構成員数	10人（うち役員10人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者 6人 その他 4人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法 (SUPU会員へのメールおよびFacebook、InstagramなどのSNS媒体)
設立の経緯	Stand Up Paddle（以下SUP）が日本国内においても急速に普及する中、多くの方がさまざまなゲレンデでSUPを楽しみ、その魅力に魅了されています。SUPは、他のウォータースポーツに比べて比較的簡単に体験することが可能であり、また今までにない視線でウォータースポーツを感じることができます。そんな魅力あふれるスポーツであるSUPですが、急速な普及に伴い、さまざまな問題が生じているもの事実です。そのような中、我々スタンドアップパドルユニオン（以下SUPU）は、生涯スポーツやレジャーとしてのSUPの正しい普及と安全対策の啓発、競技スポーツとしての競技力の向上と裾野の広がりを中心に、SUPの盛んな茅ヶ崎で各種SUPによる活動を展開していくために設立しました。
活動の目的	SUP競技の普及、啓発を図り、あわせてSUPを通じて海への関心を高め、青少年の心身の発達、安全意識の向上、地元産業、及び地元団体への理解、環境保全意識の向上を図り、地域貢献、社会貢献、国際貢献することを目的とします。
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ SUPの普及、国際試合の主催・運営、国際基準の選手の育成 SUP JAPAN CUP 茅ヶ崎の開催。他地域のSUP競技大会への協力。 ・ ジュニア、ユース世代の育成及びウォーターアウトドアスポーツの拡充 茅ヶ崎海岸でのSUP体験会、サーフィン体験会等 ・ 茅ヶ崎地域のSUPの安全及びマナーの構築 ・ 茅ヶ崎地域でのSUPフィッシング大会及びイベントの主催、運営
年間決算額	3,866,666円
補助金の状況	団体名：独立行政法人日本スポーツ振興センター 補助金の交付を受けた年度：令和2～5年度 補助金の名称：スポーツ振興くじ助成金 補助金対象の活動：SUP JAPAN CUP in Chigasaki

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する口にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>『夏休み子供向け SUP 体験会 2024』 ⇒⇒ 小中学生を対象にして SUP 体験会 日程：7月14日(日)以降の夏休み開始～9月までの期間における 日曜日 計8回予定 場所：茅ヶ崎海岸 対象：市内の小中学生（概ね小学校3年～中学校3年） 各回20名まで。※事前予約制 費用：1回1,000円 SUP インストラクター団体(一般社団法人日本 SUP 指導者協会:SIJ) から講師を招き、海に関する事前講義、SUP 安全講義、SUP 操作講 義を行い、海上で体験していただきます。</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>2021年から夏休み子ども体験会を実施しております。 茅ヶ崎の海をフィールドに、サーフィンよりも簡単に出来る SUP を用 いて気軽に、小中学生が楽しくスポーツが出来るよう、SUP 体験会を 計画し、昨年までの実施時には、翌年も開催して欲しいとの要望が多 かったこと、希望者多数でお断りしてしまったことから、夏休み期間 中の回数を増やして開催することを計画しました。</p>
<p>事業の目的や効果 について</p>	<p>小中学生が SUP を通じて、健全なスポーツ、運動が出来ることと同時 に海のルール、マナーを学ぶことで、海の安全啓蒙につながります。 茅ヶ崎の観光の一つである「海」を地元の子供たちが良く知り、海で のスポーツを継続していくことで、より魅力のある地域発展が期待で きます。また、運動不足の子供たちが、SUP を体験して海の素晴らし さ、ルールを認識し、安全に海に出ることで健康的な市民生活が送れ ます。サーフィンだけではない茅ヶ崎を市内外にアピールします。</p>
<p>事業の広報 について</p>	<p>(使用予定の媒体にチェック) ■チラシ・ポスター □パンフレットなどの刊行物 ■ホームページ ■Facebook □Twitter ■その他のSNS (Instagram) ■市の広報紙 ■市の広報掲示板 ■口頭にて伝達 ■その他(国内 SUP 団体へ告知) チラシ、ポスターは市の広報課、公民館等へ配布し、掲示を依頼します。 また、市の広報紙にも掲載依頼を行います。 各所海のサーフショップなどにもお知らせし、市内小中学生が参加しやす い広報を展開して参ります。すでに作成している SUPU のホームページ、 Facebook、Instagram から SUP 体験会の開催を広く周知致します。</p>
<p>今後の展望 について</p>	<p>2021年からの実施により、県内子ども達が海への関心が高まり、SUP を続けてやってみたい、続けているとの声が多く見受けられます。 また、他スポーツ団体と協業し、SUP をトレーニングの一つとして組 み込んでもらうことも動き出しております。 茅ヶ崎から海上スポーツである SUP をより各地に広めていきたいと 思います。</p>
<p>事業の実施体制 について</p>	<p>総括 1名(+1名) 会計 1名 広報 2名～4名、その他数名 講師 8名 SUP インストラクター団体(一般社団法人日本 SUP 指導 者協会:SIJ) × 7回</p>

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1. 参加費収入	¥160,000	参加費 @1000 × 20名 × 8回
2. 団体収入	¥698,000	SUPUで負担。一般SUPスクール等の運営資金から捻出。
3. 補助金収入	¥500,000	市民活動げんき基金補助
合 計	¥1,358,000	

支出

科 目	金 額	内 訳
賃金(会員外)	¥0	
謝金	¥960,000	SUPインストラクター団体(一般社団法人日本SUP指導者協会:SIJ)講師料:@15,000(前年から減額) × 8名 × 8回
旅費	¥0	
物品費	¥0	
印刷製本費	¥18,000	チラシ@20 × 400枚、ポスター@200 × 50枚
通信運搬費	¥0	
保険料	¥140,000	三井住友海上レクリエーション保険:@17,500 × 8回
使用料・賃借料	¥240,000	キッズ用ソフトSUP+パドルセット+ライフジャケット @5,000 × 6式 × 8回
合 計	¥1,358,000	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

<p>市民活動推進補助事業企画書</p>	
<p>令和5年 12月26日</p>	
<p>（あて先）茅ヶ崎市長</p>	
<p>所在地</p>	
<p>提出者名称 ART / TANEMAKI</p>	
<p>代表者氏名 代表 栗林大空</p>	
<p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
<p>団体の概要</p>	<p>別添市民活動団体概要書のとおり</p>
<p>事業の区分</p>	<p>社会教育の推進を図る事業 子どもの健全育成を図る事業</p>
<p>事業の名称</p>	<p>Family art day（ファミリー・アート・デイ）</p>
<p>事業の概要</p>	<p>別添事業計画書のとおり</p>
<p>実施予定期間</p>	<p>令和6年 4月 1日から 令和7年 3月 31日まで</p>
<p>事業経費の配分及び経費の使用方法</p>	<p>別添収支予算書のとおり</p>

第2号様式（第7条関係）

市民活動団体概要書

名称	ART / TANEMAKi
連絡先	
設立年月日	2021年 11月 11日
構成員数	8人（うち役員 3人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 6人 その他 2人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（ Instagram、Facebook ）
設立の経緯	市内の同志が、地域の大人という立ち位置から、教育を提供したいと考えていたことや、企業が積極的に地域貢献、教育や子育てに貢献したいと希望していたことから、得意分野の「子どもアート」のジャンルで親と子の気持ち良い関りを提供する場を持つと考え設立。
活動の目的	生涯学習の推進をすることと共に、市民による生涯教育の向上を目指すことを目的とする。
主な活動内容	2021年12月 Family art day（高砂ヴィレッジ） 2022年5月茅ヶ崎とコーヒー（高砂緑地） 2022年12月企業廃材で子どもアート（サンノイチ） 2023年5月茅ヶ崎とコーヒー（高砂緑地） 2023年5月令和五年げんき基金事業 Family art day（根源） 2023年10月里の家マルシェ 2023年11月令和五年げんき基金事業 Family art day（根源）
年間決算額	108,000円
補助金の状況	団体名：ART / TANEMAKi 補助金の交付を受けた年度：令和5年 補助金の名称：市民活動げんき基金

備考1「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

2「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>Family Art Day 2024 概要：参加者が企業廃材や様々な素材で造形表現をして過ごします。会場内には、保護者は子どもの様子を観ながら、子育ての難しさや面白さを共有できるスペースも準備し、日頃の子育ての悩みなどを気軽に共有できる場を設けます。 内容：子育て世代の親子向けに、地域の企業廃材※を用いたアートワークショップを開催する。※..企業内で規格外などで不要となった部品、パーツ、資材など 会場内でいくつかのエリアを設け、企業廃材を用いて自由に造形する遊び、ロール紙に身体全体をつかって描く遊び、絵具を用いた表現遊び等を通して子どもたちの創造性を喚起する。子どもたちの自由な表現に触れることで、親の「学び」観を柔軟にする機会を持つ。 対象：子育て世代、地域の方なら誰でも参加可能 子ども3歳以上 予定開催月：6月、11月の2回 時間：1回目 10時～11時半、2回目 12時～13時半、3回目 14時～15時半 定員：各回 12組（合計参加人数 36組×2回分 72名～） 参加費：無料 希望開催地：6月リベンデル（矢畑 183）・11月根源（東海岸南 1-15-2） 準備期間： 4月：スタッフの顔合わせ、準備のためのミーティング 4月～企業廃材を提供していただく企業めぐり① 後援名義等各種申請準備、ワークショップ材料準備 5月 スタッフ間で開催前ミーティング 6月 開催後に、スタッフ間でふりかえり、報告書作成 7月～10月 月1回のスタッフミーティング 9月～企業廃材を提供していただく企業めぐり② 後援名義等各種申請準備、ワークショップ材料準備 11月 開催後に、スタッフ間でふりかえり、報告書作成 12月 協力いただいた企業や団体に報告書をお届け ① 無償で開催...前回同様、より多くの方々に参加いただく機会とするため、無料での開催とします。 ② 前回、多数の応募者があり、キャンセル待ちも発生したため、人数管理のため事前予約制とした上で決められた時間でのワークとします。 ③ 2023年度は、初回を5月開催としたため後援名義申請が間に合わず、広報に遅れが生じました。2024年度は6月を初回開催として2回とも後援名義を申請し、茅ヶ崎市および周辺に住む方々に広報を広げる。 ④ 2023年度は、他の市民活動団体との協働を実施できたため、継続して協働活動を積極的に取り組んでいく。 【安全管理】 ・企業廃材や素材の洗浄消毒、品質管理の徹底 ・入室時のアルコール手指消毒準備 ・ケガの時のマニュアル作成と共有、絆創膏などの準備</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>【背景】 私たちは、4回の family art day の開催を通じて、アートは正解がないからこそ、アートを通して子どもたちは自由な表現をすることが可能で、親が子どもたちの自由な表現に接することで、子どもたちの可能性に気付く機会になると考えています。 また、モノづくりを通して子ども達がのびのびと自己表現をし、互いにありのままの姿を容認する現場をたくさん見て来た経験から、子育ての不安は、子ども達の楽しんでいる姿から払拭されると考え、事業を実施しております。 【社会的意義】</p>

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
団体収入	28593	無料開催のため参加費なし(他事業より補充)
補助金収入	112000	市民活動推進補助制度
合 計	¥140,593	

支出

科 目	金 額	内 訳
旅費	9600	駐車場代1200円/1日 × 4名 × 2日分
物品費	90293	ぺんてるゆび絵の具(あか、あお、きい、しろ 1100円×4色4本) × 2回 分=35200円 shuttle artクレヨン30色 2800円×2セット=5600円 透明厚手養生シート 2.7m×2.7m 1枚 5390円 使い捨て養生ロール580円×4×2回分=4640円 白或いはページュ布(建具、家具の養生用) 1100円×3枚=3300 絵筆 2200円分 養生テープ 460円×6個×2回分=5520円 セロテープ台座 240円×4=960円 セロテープ 110円×6本×2日=1320円 木工用ボンド セメダイン木工用即乾50ml 199円×4本=796円 普通紙ロール 85μ(2本4312円) × 2回分=8624円 厚手養生用シート2849円 ウェス(110円3枚入り×3) =330円 消毒関係(消毒スプレー500ml 1100円×2本) × 2回分=4400円 パレット用小紙皿 1254円×2日分=2508円 やすり1個1106円 小型のこぎり GISUKE 細工用 鋸 ダボ切り 120mm 1,000円×2=2,000円 児童用軍手 110円×5=550円 くぎホルダー(釘打ち安全装置) 1,200円×2=2,400円 くぎ 600円
印刷製本費	6000	チラシ 600枚 (A4表面カラー裏面白黒印刷3000円) × 2回分
使用料・賃借料	34700	6月*リベンデル茅ヶ崎市矢畑 22000円 11月*アトリエ根源 茅ヶ崎市東海岸 12700円
合 計	¥140,593	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">2023年12 月26 日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: center;">所在地</p> <p style="text-align: right;">提出者 名称 マザーアース茅ヶ崎 代表者氏名 山田秀砂</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	②社会教育の推進を図る ⑨地域安全事業 ⑫男女共同参画の形成の促進を図る事業
事業の名称	「生きる力を育む～学校防災」と「災害時の心理と行動」を知る
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	2024年 4月 1 日から 2025年 3 月 31 日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	マザーアース茅ヶ崎
連絡先	
設立年月日	2018 年 7月 11 日
構成員数	9（立ち上げ時）人（うち役員 2 人） （マザーアース規約で各人の意志を尊重するエンゲージメント方式です）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 9 人 その他 サポート人員 随時参加 人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（サポートセンターガイドブック・フェイスブック）
設立の経緯	地域で活動（自治会・推進協・社協・市民団体広域避難場所を守る会など）をして行く中で「何かが足りない」と感じていた女性達が集まり、人との関わり合いの中で互いを思いやり・認めあう・優しく温かい繋がりが、今後向えるであろう自然災害リスクや社会的リスクを乗り越えるのに必要な力と考えました
活動の目的	マザーアースが最初に取り組んだ「防災ラブアクション」は東日本大震災で74名の児童と11名の教師が亡くなった石巻の大川小学校が切掛けで *被災者になった時「悲しみと後悔の中で生きて欲しくない」だから防災・減災に取り組む事の必要性を知って欲しい！ *茅ヶ崎市最大の問題である地震災害後の同時多発延焼火災の現状の恐怖を市民は知り、災害と正面から向き合って欲しいための周知活動です
主な活動内容	: 茅ヶ崎市の災害時の危険度を自治会・自主防災組織・教育機関代表者・福祉関係・一般など多く方に真実を知ってもらい、あらゆる年代に「生き抜く知識と方法」を理解して貰えるようイベント開催による周知活動 : 防災に女性の視点をいかす「女性防災会議」を発想し市内のコミュニティセンターで講演会開催、決定出来るポジションに女性を起用する活動を実施 : 家庭内での「命を守る減災・防災対策のやり方」周知イベントの開催 サマースペース海岸・市広場イベントにて「こども防災〇×クイズ」実施 : 防災に関連した全てに女性の視点を入れ込むことが重要と考え、命を預かる側、預ける側の思いが寄り添い協力出来る体制確立のため多様な提案と実行をして行きたいと考えます。
年間決算額	昨年のマザーアース事業費は現在まで13万程度
補助金の状況	団体名：茅ヶ崎市 補助金の交付を受けた年度：令和4／5年度 補助金の名称：茅ヶ崎市民活動推進補助金

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>2024年4月以降 「生きる力を育む学校防災～災害時の心理と行動」を実施して行きたいと考えています。 いま必要なのは「命を預かる側と預ける側の信頼と繋がり」です。 昨年の「女性防災会議」では女性達の生活の中から生まれた知恵や繋がりを防災に活かすため、日常の生活で感じている災害時の不安解決の道を探るなか、特に住民に多かった不安は「学校や老人施設などは本当に安全なのか？」という声でした、保護者はもとよりお孫さんを持つ高齢者からも、そして高齢な家族を預けている施設などは？ 命を預かる場所をどこまで信じてよいのだろうか？というご意見でした。多くの災害で犠牲になるのは災害弱者ですが預かる側だけの問題でしょうか？ 市民の皆さんは家の中で災害対応をしていますか？ 個人も組織も災害を「自分事」としての意識が低いのではないのでしょうか？ 「自分事」として考えた時はじめて「生きる力を育むこと」が出来ます、そして「命を預かる側・預ける側が信頼でつながる事」が出来ると考えます・・・時がたつと忘れてしまうような私たちに「生きる」大川小学校津波裁判を闘った人たちの映画は大きなインパクトと共に大切なことを思い起こさせてくれます。次世代に残せるのは「生きる力」の育み方です。今年度は「学校防災」に焦点をあわせ今後の荒ぶる自然災害や人的災害時に子ども達と共に自分を守り切れる「生きる力」をつけていくことの大切さとその基盤となる「災害時の心理と行動（個人・組織）」を探って行きたいと思います。</p> <p>年間予定</p> <p style="text-align: center;">*年4回予定 講演・上映会 講演・上映会 （市民文化会館 / 松下政経塾 予定 30名～50名 ¥1,000）</p> <p style="text-align: center;">*年2回予定 ミニ・勉強会「生きる力を育む学校防災」 （ミニ勉強会は10名程度個人宅・カフェなども可 ¥300）</p> <p>感染症対策：地域のコミセン規則に沿う・独自には名簿の作成・マスクの着用・フェイスシールド・アルコール手指消毒など</p> <p>予定</p> <p>：7月 ミニ勉強会開催予定 セレンデピティーカフェ開催予定 *災害時の心理と行動「生きる力を育む学校防災」 特定非営利活動法人日本危機管理士機構 危機管理士 *障害を持つ人の家族が思うことを本音で NPO 法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン</p> <p>：8月 *講演・上映会 関東学院大学 細田聡教授「災害時の心理と行動」講演会 「生きる」大川小学校津波裁判を闘った人たちドキュメンタリー映画の上映会をセットで行う</p> <p>場所： 市民文化会館・松下政経塾 対象： 市民・自主防災組織・教職員・施設職員など全てが対象</p> <p>：11月 ミニ勉強会開催予定 柳島コミュニティーセンター開催予定 *災害時の心理と行動「生きる力を育むには」 特定非営利活動法人日本危機管理士機構 危機管理士 Colorful Bosai Creation 代表 古島 真子 防災をHAPPYに伝える防災士 *防災食レシピ 被災時の食卓を明るく Love. Iness_Shonan 代表 hachi “食の安全を守る未来の子供食堂”</p> <p>：R7 3月 *講演・上映会 関東学院大学 細田聡教授「災害時の心理と行動」</p>
------------------------	---

	<p>「生きる」大川小学校津波裁判を闘った人たちドキュメンタリー映画の上映会と講演会をセットで行う 3月9日(日) 松下政経塾 3月11日(火) 市民文化会館</p>
事業の背景について	<p>映画「生きる」は辛い内容では有りますが、学校での災害で74名もの児童と10名の教職員が命を落とすという戦後最大のあつてはならない事件が、なぜ大川小学校だけに起こったのか?を保護者の視点から検証した内容です。このようなことが二度と起きないようにするには事実を多くの人たちが知り、自分事として考える事につきます。</p> <p>共働きの多い現状で「学校防災」に大きな不安を持っている事は明らかですが学校だけに責任の全てを託してよいのでしょうか? 悲劇の事実を知り突き詰めていくと親にも子供にも「生きる力を育む」防災教育が必要だ!に行き着きました。</p>
事業の目的や効果について	<p>目的 事実を多くの人に知らせることが必要です。責任を個人に求めるのではなく組織としての構造や思考の方向が大きな悲劇の要因になる事を、学校に限らず、職場・出向いた先などあらゆる場所で災害は起こります。つまり全てが何かの管理下で起きる可能性があるのです。ただ、同じ学校組織の管理下の中でここまで結果が違った意味は検証されなくてはなりません。そこに重要な改善すべきことが隠れているからです。</p> <p>私たち市民ですら何らかの組織の一員(自治会・PTAなど)であり働いていれば尚更です。もし災害時に組織が機能しないのであればその中の個人が「自分事」にしていけないからではないでしょうか「事前防災」の重要性も知っていただきたいです。</p> <p>事前防災の不備で未来を奪われた無念と事実を「学校防災の礎」とし、「大川小学校の悲劇を教訓にして未来の子ども達の命を守って欲しい」という遺族の思いに私たちが添う行動をすべきではないでしょうか。</p> <p>上映にあたり、災害時には「個人も組織もどのような心理状態になってしまうのか」を事前に知ること、その後の思考と行動が違ってくるという「災害時の心理と行動」の講義を、行動心理学の関東学院大学 細田聡教授にお願いしました。</p> <p>自分のいる場所の状況・危険、自分の心理状態を知ることによって可能な対応が出来る「生きる力を育む」効果を上げることになるからです。</p> <p>日本国中の人たちがこの事を知り、考え「自分事」に出来れば災害対応は必ず変わります、私たちは茅ヶ崎で変えて行く努力をしていきます。</p>
事業の広報について	<p>(使用予定の媒体にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input checked="" type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物 <input checked="" type="checkbox"/>ホームページ <input checked="" type="checkbox"/>Facebook <input type="checkbox"/>Twitter <input type="checkbox"/>その他のSNS () <input checked="" type="checkbox"/>市の広報紙 <input checked="" type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input type="checkbox"/>頭にて伝達 <input checked="" type="checkbox"/>その他(まちぢから協議会回覧板) 紙媒体を中心に周知する</p> <p>・チラシやポスターの配架を考えているのは、公民館(5館×20部ずつ)、コミュニティセンター(11館×10部ずつ)、ちがさき市民活動サポートセンター(50部)です。 ・チラシは市の広報掲示板にも掲載を依頼します(146箇所)。</p> <p>・市広報紙への掲載を依頼します。継続参加の意志がある方のうち、希望される方には、ダイレクトメールを送って継続を促します。</p>
今後の展望について	<p>「アンガーマネジメント」で学んだ個人・組織の中にある怒りのコントロール、「女性防災会議ブレイクスルー」で経験した女性の視点の活用の地域での実践を経て、人びとが社会的に大きな意味と広い面でつながっていけると感じています。</p> <p>今回の「生きる力を育む学校防災」は長年の課題であり最もハードルの高い課題だと思っておりますが、先の2年の学びと行動で道筋が見えてきたように感じています。</p> <p>2024年2月茅ヶ崎市主催の「みんなの防災展」には「女性防災会議」</p>

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
講演上映会収入	120,000 円	予定定員 30名×1,000=30,000×4
ミニ勉強会	6,000 円	10名×300×2=6,000
補助金	235,000 円	補助金より
マザーアース茅ヶ崎	30,860 円	マザーアース茅ヶ崎より支出
	合計391,860 円	

科 目	金 額	内 訳
① 映画レンタル料	100,000 円 (税込み)	レンタル2回分
② 謝金	40,000 円 (税込み)	講演者20,000×2
	40,000 円 (税込み)	講師(防災士)謝礼4,000×5名×2
③ 交通費	4,000 円 (税込み)	講演者2,000×2
④ スタッフお礼	30,000 円 (税込み)	スタッフ10名 3,000×10名
⑤ 保育スタッフ	24,000 円 (税込み)	3,000×4名×2
⑥ 資料印刷費 ポスター印刷費	44,800 円 (税込み)	講演/上映会200×30人×4=24,000円 ミニ会議 200×10名×2=4,000円 ポスター 2,000部(ミニ集会2回含む) 8,430×2=16,800 円 プリントネット
⑦ 会場費	109,060 円 (税込み)	茅ヶ崎文化会館(9~17/加算・備品含) 21,830×2=43,660円(税込み) 松下政経塾(11~17/加算・備品含) 32,700×2=65,400
	合計391,860 円	

信頼できる学校防災を

学校や幼稚園などへ お子様を預けている方と
お子様を預かっている立場の方 が感じている
「学校防災に対する意識」の現状把握アンケート

この度 SAVE 茅ヶ崎では【学校防災】をテーマにアンケート収集を致します（回答所要時間は5～10分程度）となります。保護者と学校が安心と信頼でつながるため是非ご協力をお願い致します。

※アンケート回答締切：2024.1.20

QRコードよりお入りください

預ける側



預かる側



<趣旨> 過去～現在の学校防災はルールありきのマニュアルや形式的な防災訓練のみになってしまいがちで、いざという時に命を守るための判断力や行動力を身につけられるものになっていません（生徒・教師・親のいずれも）。そんな状態を打破し、「生きる力を育む学校防災」への

変革 を目指す第一歩として本アンケートを設計しました。

<目的> 今回のアンケートでは、本質的な学校防災とはどのようなものであるべきか？ それを実現するためにはどのような行動が必要か？ 「学校防災に対する意識」の現状把握です。このアンケート結果を元に見えてきた課題や要望などをまとめて、学校防災に関わる方々を交えての意見交換や、具体的なアクションに繋げていきたいと考えています。

<対象> お子様を幼稚園・学校等に「預けている方」及び学校や幼稚園などで児童・生徒を「預かる立場」の方（茅ヶ崎市外の方・元教員（過去5年以内）の方なども対象）。大切なお子様の命を守るためにも、ご協力のほど宜しくお願い致します。

<アンケート依頼主> SAVE 茅ヶ崎メンバー

- ・マザーアース茅ヶ崎代表 山田ひさ
特定非営利活動法人日本危機管理士機構
自然災害危機管理士・防災士
- ・Love.1ness_Shonan 代表 hachi
“食の安全を守る未来の子供食堂”
- ・Colorful Bosai Creation 代表 古島 真子
防災を HAPPY に伝える防災士



「生きる」大川小学校 津波裁判を闘った人たち

なぜ **72**名 もの子供の命と **10**名の教師の命が 学校管理下で失われたのか…

なぜ **大川小学校** だけが…

検証を求めた遺族の5年半に及ぶドキュメンタリー映像の中から見えてきたものは…

鎌倉市で行われた市民団体「七七支援隊」主催の上映会に鎌倉市長・教育長が出席されていました。

挨拶だけでなく観て意見を受け止め思いを語る真摯な姿勢に鎌倉市行政への信頼が持てる鎌倉市民が羨ましく思いました。

小さな命が残した伝えなくてはならないこと忘れてはいけないことを鎌倉市長は確りと受け止め市民を守っていくと確信出来ました。

私たちも受け止め行動していきます。
マザーアース茅ヶ崎 / 「SAVE茅ヶ崎」実行委員会



- 50分も校庭に待機して最後に選択されたのはいちばん危険な北上川方向でした…



- 「山さ逃げよう！」という生徒や先生の声は受け入れられませんでした…

第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年 12月 26日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: right;">所在地 提出者 名称 一般社団法人リトルハブホーム 代表者氏名 代表理事 岩崎愛</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(2) 社会教育の推進を図る事業 (3) まちづくりの推進を図る事業 (13) 子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	ボランティア養成講座 HPの作成
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和6年 4月 1日から 令和7年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	一般社団法人リトルハブホーム
連絡先	
設立年月日	2022年 4月 20日
構成員数	3人（うち役員 3人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 2人 その他 1人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（ Instagram・facebook ）
設立の経緯	子どもシェルター、児童養護施設、教職での勤務経験を持つスタッフが、児童虐待をはじめ子どもが育つ環境に関する課題が深刻化していることを痛感。コロナ禍で社会的孤立がさらに深まる中で、貧困、虐待など様々な背景を持つ子どもや家庭が安心して育ち合う場を実現することを目的とし、2021年度より活動を開始。2022年4月法人化。10月から茅ヶ崎で居場所として「みんなの家」を開始。
活動の目的	貧困、虐待など様々な背景を持つ子どもや家庭が安心して育ち合う場を実現する。そのために交流の場・居場所の提供、他機関連携の拠点運営、勉強会イベントの企画、ほか上記目的を達成するための事業の実施。
主な活動内容	申請事業：ボランティア養成講座※詳細は事業計画書等を参照 以下申請事業以外の当団体実施事業 ① おむすび寺子屋（こどもへの軽食提供・学習支援/週2回+α） ② こどもおとな食堂（地域のこども・孤立高齢者への食事提供/月2回+α） ③ テーマごとの集い（まちの保健室・サマースクールなど/不定期月3回程度）
年間決算額	1,574,327 円
補助金の状況	1. 団体名：公益財団法人かながわ生き生き市民基金 補助金の交付を受けた年度：2023年度 補助金の名称：第19期福祉たすけあい基金 2. 団体名：茅ヶ崎市社会福祉協議会 補助金の交付を受けた年度：2023年度・2022年度 補助金の名称：サロン運営補助 3. 団体名：茅ヶ崎市 補助金の交付を受けた年度：2022年度 補助金の名称：子ども食堂運営補助金 4. 団体名：茅ヶ崎市 補助金の交付を受けた年度：2023年度 補助金の名称：市民活動げんき基金補助制度

備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>ボランティア養成講座 ～子どもの現状と子どもにやさしい子育て連続講座～ 子どもの現状に関心のある地域住民、学生、ボランティアに興味のある方に対して実施することで、地域で課題認識を共有し、スキルを身につける講座を展開する。子どもへの関わり方やコミュニケーションスキル、傾聴講座や子どもの人権に関わる知識、体験型のグループワークを実施。</p> <p>【具体的な実施内容】 子どもの現状・児童虐待と社会的養護の課題を学ぶ講座、子どもに優しい子育て（コミュニケーションスキル）学ぶ講座（2回連続講座×年間3回の実施） （日程）5月、9月、12月以降 平日又は土曜 午後2時間程度を予定（2回連続講座×年間3回の実施） （場所）みんなの家（団体活動拠点の一軒家古民家） 住所：茅ヶ崎市東海岸南 2-1-15 うみかぜテラス（30名版拡大時の会場） 住所：茅ヶ崎市中海岸 3-3-9 （内容）子どもの現状・児童虐待と社会的養護に関する課題を学ぶ講座 子どもと対話するコミュニケーション講座（傾聴講座など） （想定講師）精神保健福祉士、NVC 認定資格者、CAP 講師、元大学講師、社会的養護の現場経験者など （対象）市内の関心のある方 各回10名まで【事前予約制】 （費用）2回連続講座 500円、資料代など 今期、想像以上の申し込みがあり、来期からは一部拡大版の実施を見込む。拡大版として2回連続講座×3期（合計6回）のうち、1期2回は最大30名の定員でボランティア講座の実施を目論む。</p> <p>新規取組【ボランティア活動をはじめる方にむけた新規 WEB ページ構築】 今期、講座の実施により潜在ボランティアの増加に寄与した一方、具体的にボランティア活動のイメージが付きづらいという声上がり、ボランティアの定着に課題が残った。来期は、ボランティア希望者にむけて活動の具体的なイメージができるための「ボランティア活動をはじめる方」にむけた新規 WEB ページを構築する。</p> <p>【感染症対策】 各回、間隔を持った席を配置するとともに、30分ごとに換気を行い、3密を回避します。参加者は事前に把握し、アルコール手指消毒を呼びかける。</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>子どもと子育て家庭の孤立が深まっている。貧困・引きこもり・子育てのストレスといった困りごとが家庭の中に押し込められ、より一層社会からは見えづらくなっているのではないだろうか。こうした背景のもとに、国の施策では令和5年4月より子どもの権利を包括的に保障する子ども基本法が施行された。また、それと同時に、児童福祉法が改正され、これまでの児童相談所を中心とした「なにかが起きてから対処する」支援から、児童等に対する家庭及び養育環境、子育て</p>

	<p>て世代の負担軽減などから「日常的かつ包括的」な支援へと大きく舵がとられてきている。法整備や行政機関の見直しが進む中で、市民生活に最も近い地域こそがその最初の担い手となる必要があると考える。</p> <p>しかし現実には、茅ヶ崎市でも要支援家庭や困窮家庭など見えない子どもたちが存在しているものの、地域レベルで見守る体制を構築することは難しい。地域の住民の方々にとって子どもの課題は一般的に認知度が低く、学ぶ機会や関わる場が少ない。あるいは、子どもの現状や課題や子どもへの関わり方に関心はあるが、自分が何をすればいいのかわからないという声も聞こえてくる。したがって、子どもをめぐる課題に対して関心のある地域住民に対して、体験型などの連続講座を実施し、子どもや纏わる地域社会の課題を身近に感じる機会を提供する。</p> <p>今期の事業実施により、潜在ボランティア増加に寄与した一方で、具体的な活動イメージが湧かず、一歩が踏み出せないという声が多くなってきた。それを踏まえ、来期は、新たにボランティア希望者にむけて活動の具体的なイメージができるための情報発信の工夫も重要だと痛感した。</p>
<p>事業の目的や効果について</p>	<p>事業を実施することで、参加者の行動変容を促し、自分でも役に立てるという実感を持てるようにすること、また、地域に貢献する一歩を踏み出せる学びや経験のできる場を用意することで、市民性を持ち、子どもたちや地域の力になれるステップとなる。</p> <p>その結果として、当団体の内外において受講者がボランティアとして活動に参加することで、子どもの課題解決に向けた事業従事者の増大を目指す。年間当該事業を通して、地域で30名程度の潜在ボランティアの創出を目指す。実際、2023年度は、12月1日現在、2期4回を開催し、延べ26名が参加。当団体内で活動するボランティアに限定しても、昨年5名だったボランティアが12人と大幅に増加し、ボランティアの養成講座の効果が実感できている。また、これまで地域で高齢者福祉に従事していた方が、講座を通して子どもの現状を知り、支援活動の視野が広がったなど波及効果もあった。3期目第5回・6回に関しては、2024年2～3月に予定。どちらも10名以上の参加を見込み、地域で30名程度の参加者は達成できる見込み。そのうち、実際に地域ボランティアとして活動する方への養成に引き続き取り組んでいく。</p> <p>さらに来期は新規WEBページを専門機関に委託し、構築することで、活動内容のわかりやすい提示をすることが可能となることを見込む。様々な視覚化、具体的なボランティア内容、当法人の目指すビジョンや理念などを明記し、活動の想いに共感する、新たな関心層の流入を図る。ボランティアを始める方が、自身のライフコースと照らし合わせながら、無理なく活動を始められるための情報発信を行う。発信はWEBページを通して行い、講座からボランティア定着までのプロセスを明確化し、定着率を高める。</p> <p>その結果として、ボランティアが自らの拠点を持ち、自立したハブ（拠点であり“人”でもある）となっていくことを目指す。結果として子どもたちが暮らす地域にそうしたハブ機能が拡がっていき、茅ヶ崎市から子どもが安心して過ごせるまちとなっていくことを目的としている。</p>

<p>事業の広報 について</p>	<p>(使用予定の媒体にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> チラシ・ポスター <input checked="" type="checkbox"/> パンフレットなどの刊行物 <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> Twitter <input checked="" type="checkbox"/> その他のSNS (Instagram) <input checked="" type="checkbox"/> 市の広報紙 <input checked="" type="checkbox"/> 市の広報掲示板 <input checked="" type="checkbox"/> 口頭にて伝達 <input checked="" type="checkbox"/> その他(近隣店舗)</p> <p>・「ボランティアをはじめの方へ」等のWEBページ作成</p> <p>・チラシやポスター、公民館(5館×20部ずつ)、コミュニティーセンター(11館×10部ずつ)、ちがさき市民活動サポートセンター(20部)、地域店舗、関係機関への配布、ポスティングなど</p> <p>・神奈川新聞、タウンニュース、t-Style(過去掲載実績有)</p> <p>・チラシは市の広報掲示版にも掲載を依頼予定。</p>
<p>今後の展望 について</p>	<p>【運営費用面】 マンスリー会員等の会費を団体の主な自主財源とする。継続方法としては、情報発信・法人全体としての他団体との共同イベントの開催によって、賛助会員や団体会員増加を見込む。今期マンスリー会員は入退会もあり、現在9名、月額44,000円(12月1日現在の実績で個別寄付除く)。今期末(R6.3.31)時点で75,000円程度まで増やすことを目標としている。R7末時点では、毎月の安定した自主財源を固定費に充当し運営の安定性確保することを目指す。また、今期より法人寄付制度を創設し、(株)パークジャパンより114万円の企業寄付があり、今期も継続見込み。</p> <p>【R7以降の展望】 当事業にて創出したボランティアをR7以降の活動のコアボランティアとして、当法人の他事業(1.おむすび寺子屋 2.こどもおとな食堂 3.テーマごとの集い)への流入を図る。また、参加者には賛助会員の紹介、facebook、instagramなどSNSのフォローや、メール等での継続的な情報発信を実施することで、R7以降も課題関心を継続してもらっていただき、イベント等への参加を促す。</p> <p>【今期の課題をもとにした事業修正】 増加した7名のボランティアの定着を図るべく、個別面談や定例のボランティアミーティングを実施。ボランティアのスキル向上やメンタルケアに取り組む。</p> <p>【長期展望】 学ぶ機会やスキルを持った地域住民が増えることで、子どもや家庭が安心して育ち合う場を、地域のいろんな拠点で提供していくことができる。リトルハブホームの拠点である“みんなの家”に限らず、参加された方が地域で活動できる学びとなる機会を提供し、継続的に開催することで、一人ひとりの意識や行動変容となり、街全体が有機的に循環する場を提供していく。時に学びの機会をより多くの方に提供できるよう、動画配信なども検討し、より広く問題提起ができる土壌を整える。</p>
<p>事業の実施体制 について</p>	<p>総括：代表理事1人 会計：1人 広報：(チラシ・パンフレット・SNS等の運営) 理事2人、ボランティア 講演者：精神保健福祉士、NVC認定資格者、CAP講師、元大学講師、社会的養護の現場経験者など 実施人員：法人理事、ボランティア(2名以上) 広報・実施協力者：松下政経塾など外部機関と連携した広報を実施。 連携先：子ども関係団体、地域自治会、中間支援団体、市担当課</p>

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
事業収入	25,000	参加者負担費用500円×10人×2期=10,000円 拡大版500円×30人×1期=15,000円
寄付金収入	108,701	団体寄付から充当
補助金収入	500,000	市民活動推進補助制度
合 計	¥633,701	

支出

科 目	金 額	内 訳
賃金(会員外)	12,000	【ボランティア謝礼】1,000円×2名×6回=12,000円
謝金	144,000	【講演者謝礼】1名12,000円×2名×6回=144,000円
旅費		
物品費	13,536	模造紙60枚(20枚1990円×3=5970円)文房具ペン(4セット×1248円=4992円)付箋(429円×6回=2574円)
印刷製本費	14,285	講座資料印刷代(A4コピー用紙(500枚1束)550円)、インク代(2365円)、配布用チラシA4 1000部(3790円×3期)
委託費	447,000	ボランティア流入のための事業専用webサイト(NPO法人湘南スタイル様)
保険料		
使用料・賃借料	2,880	【うみかぜテラス】1時間480×3時間×2日=2,880円
合 計	¥633,701	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

リトルハブホーム通信1周年記念号!

リトルハブホームとは

“小さな拠点(ハブ)が広がれば街全体がひとつ(おおきな)のホームに”をコンセプトに、茅ヶ崎市東海岸南にて緑地のある古民家『みんなの家』を運営しています。
「子どもも大人も地域で安心して育ち合う場」として、様々な人々と出会いつながり、地域に根ざした暮らしを地域の皆さんと作っていく活動をしています。



みんなの家1周年記念イベント!!

皆様のおかげさまでリトルハブホームの運営する“みんなの家”は2022年10月に開設し、一周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。
日頃の感謝を込めて1周年記念イベント企画しました!!
★10時よりドキュメンタリー映画「REALVOICE」観賞会
★13時より15時まで各団体ブース出店や地域の皆様とバザー! ボランティアさんや地域の団体さんによる振る舞いカレーなどご準備しております! 気軽に交流できるハブとしてどうぞお気軽にお越しください(^-^)/ 参加費無料!
詳細は裏面QRコードからホームページやSNSにてご覧ください!



岩崎愛
代表理事
元子どもシェルター職員
社会福祉主事
児童指導員など



原田梨世
理事・クリエイティブ担当
小中高英語
教諭第一種免許保持
教育系NPO勤務



宗野 創
事務局長
元銀行員
松下政経塾塾生
地域の居場所づくりがライフワーク

<みんなの家 3つの取り組み>

①おむすび寺子屋(放課後居場所事業)

学校が終わったら自由に遊びにきてね
おむすびやお菓子も食べられるよ。カードゲームもあるよ。
ゆっくり話したり勉強もできるよ。来たい時にいつでもきてね!



毎週火曜 15:00-17:00 水木金随時開催

隔週土曜 11:00-14:00 (詳細はホームページにて)



②こどもおとな食堂

土鍋で炊いたご飯とお味噌汁で地域の皆さんとみんなであたたかいご飯を食べましょう。
赤ちゃん、シニアさんどなたでもお気軽にお越しください。



第1、第3火曜 12:00-14:00



③テーマごとの集い

地域の主任児童委員さんによる“みんなの相談室”

第1水曜 13:30-17:30



看護師さんや地域のママさんによる“まちの保健室”

第2木曜 13:00-16:00



地域と繋がるめぐみさんより“ババ抜き会”

毎月最終木曜10時-12時

茅ヶ崎市市民活動連携団体“みんなのプラットフォーム”やsummerschool(茅ヶ崎シーズンスクール実行委員会)共催。その他各種勉強会、お話し会、イベントなど開催しております! 詳しくは裏面QRコードにて! ぜひお気軽にお越しください!

◎ボランティアさんも随時募集しております!!

これまでと"これから"のリトハブ



〈これまでの活動記録〉

”みんなの家“が開設されてから、有志のボランティアさんや地域の方々と共に、主に3つの事業を中心に開催して参りました。2022年10月～2023年9月までの実施

- ①おむすび寺子屋 年間 計89回開催
- ②こどもおとな食堂 年間 計15回開催
- ③テーマごとの集い 年間 計68回開催

年間で総数延べ約1800人の方々にお越しいただきました。活動詳細の様子は各種SNSなどでご覧いただけます。今後も、こどもたちを中心に安心して育ち合うまちづくりに貢献できるよう、皆様と共に歩んでいきたいと思っております。

〈これからのリトルハブホーム〉

この一年の活動から見てきたことから、3つのビジョンを目指して参ります。

- ①ハブが増える仕組みづくり…詳細は上記ステップにて。
- ②地域で“育ち合う”仕組みづくり…様々な専門機関や地域と連携し“誰も孤立化させない”伴走する関わりを大切に。
- ③継続する活動基盤のための運営…“地域の子どもをみんなで育てる”ため、安定安心の場が各地域に広がるような運営基盤づくり。

賛助会員、ご寄付のお願い

“みんなの家”は子どもの利用は無料です。スタッフと含め運営は基本ボランティアで行っておりますが運営が厳しく、共に支えてくださる会員さんを募集しております。

賛助会員 年間一口3,000円より
団体会員 年間一口10,000円より

オンラインはこちら

口座： PayPay銀行 (ペイペイ)
店番号： 005 (ビジネス営業部)
口座番号： 普通 6166062
名義： シヤ)リトルハブホーム



ゆうちょ：店番029 記号00230-8 口座番号 (当座) 117284

ご寄付いただきありがとうございます！

株式会社パークジャパン様 <マンスリーサポーター>



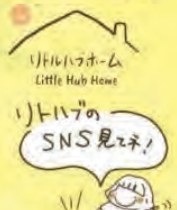
- 早崎明子様 種田 毅様
- おやのめぐみ様
- 久住奈美様 広瀬道子様
- 小倉奈緒子様
- 川口栄子様 金澤朋子様

その他たくさんの方々にご寄付いただいております。いつもご支援いただきありがとうございます！！

一般社団法人 リトルハブホーム TEL 0467-27-2419
〒253-0054 神奈川県茅ヶ崎市東海岸南2-1-15

後援 茅ヶ崎市海岸地区社会福祉協議会

- また当団体が実施している一部の事業に
 - *茅ヶ崎市こども政策課部子ども食堂補助事業
 - *茅ヶ崎市市民活動げんき基金
 - *かながわ生き生き市民基金『福祉助け合い基金』
- をご活用させていただいております。



第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">2023年 12月 26日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長 様</p> <p style="text-align: right;">所在地</p> <p style="text-align: right;">提出者 名称 ミナスタ</p> <p style="text-align: right;">代表者氏名 三浦雅樹</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(2)社会教育の推進を図る事業 (3)まちづくりの推進を図る事業 (6)学術、文化、芸術又はスポーツの復興 (13)子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	～ミナスタ運動教室～
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	2024年 4月 1日から 2025年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	ミナスタ
連絡先	
設立年月日	平成29年 1月 9日
構成員数	3人（うち役員 3人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 3人 その他 0人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（茅ヶ崎市民活動ガイドブック、SNS）
設立の経緯	保育園の先生方・保護者の方々から「子ども達によりよい環境で様々な経験をさせてあげたい。」「運動教室や習い事にも通わせてあげたいが、通わせてあげられない。」等の声をたくさん聞きました。そこで、何か出来ることはないかと考え、自身が小さい頃から携わってきたサッカーをツールとし、2017年1月9日より市民活動団体「ミナスタ」を設立しました。
活動の目的	地域住民に対して、子ども・子育て支援の取り組み、運動・スポーツ活動などの復興、子どもの健全育成、まちづくりの推進に関する活動を行い、地域における発展に寄与すること
主な活動内容	① サッカーを通じた運動教室
年間予算額	3,000 円
補助金の状況	団体名：ミナスタ 補助金の交付を受けた年度：2017年度 補助金の名称：茅ヶ崎市市民活動推進基金 スタート支援 補助金の交付を受けた年度：2019年度 補助金の名称：茅ヶ崎市市民活動推進基金 ステップアップ支援1回目 補助金の交付を受けた年度：2020年度 補助金の名称：茅ヶ崎市市民活動推進基金 ステップアップ支援2回目

備考 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>2018年度から実施していた事業は、～サッカーを通した運動教室～でしたが、2024年度からは、ミナスタ運動教室と名称を変更し、サッカーだけでなく、野球、体操を通した運動教室を展開致します。</p> <p>① ミナスタ運動教室 地域の保育園に講師として、 月1回×10保育園×12カ月の年間120回 1日45名程度＝1カ月450名程度の子ども達へ、1年間を通した、定期的な活動かつ、色々な運動・スポーツを通して、様々な体験や経験ができる機会・きっかけを子ども達・ご家庭・保育園に提供致します。</p> <p>例：1日のスケジュール 3・4歳 10：00～10：30 4・5歳 10：30～11：00 5・6歳 11：00～11：30</p> <p>例：年間のスケジュール 4月～6月⇒サッカー教室 7月～9月⇒体操教室 10月～12月⇒野球教室 1月～3月⇒ご希望の運動・スポーツ</p> <p>② 近隣の保育園同士の架け橋 ミナスタ運動教室を通して、近隣の保育園の子ども達が交流する機会を作ります。 普段とは違うお友達と交流するという体験・経験を子ども達・ご家庭・保育園に提供します。</p> <p>例：年2回 鶴が台保育園 と 香川保育園 交流 茅ヶ崎子ども園 と もりのこ保育園 交流</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>「子ども達に、よりよい環境で様々な経験をさせてあげたい。」「運動教室や習い事に通わせてあげたいが、通わせてあげられない。」等の声をたくさん耳にしました。 そこで何か出来ることはないかと考え、自身が小さい頃から携わってきたサッカーをツールとし、2017年1月9日より市民活動団体「ミナスタ」として、「サッカーを通した運動教室」を提供して参りました。 活動を提供してから7年が過ぎようとしています。</p> <p>そこで、改めて「社会課題」が現時点もあるのか、そして「ミナスタ」が提供する活動や機会が必要とされているかのアンケート調査を実施致しました。 このアンケートは市内10保育園の2歳～5歳児クラスを対象に741枚配布。 アンケートのご返答を頂いたのは、302のご家庭。 ※アンケート年齢対象外のご家庭からもご返答を頂いたので、含めております。</p> <p>アンケート項目① 「習い事など、子どもに様々な体験や経験をさせてあげたいが、困難である。」のYes・No問いでは、302のご家庭の中で、困難であるの</p>

	<p>は全体の 79%の 240 名となったのを確認すると、改めて大きな社会課題だと感じている。</p> <p>別紙に記載している困難である主な理由として上がった「時間的制約・経済的制約」にも大きな社会課題を抱えているのを感じている。</p> <p>※「アンケート項目①の集計と理由」別紙参照</p> <p>アンケート項目②</p> <p>「ミナスタのような活動や機会が子ども達には必要である。」の Yes・No 問いでは、302 のご家庭の中で、必要としているご家庭は全体の 93%の 281 名となっているのを確認すると、改めて社会課題に向き合え、ミナスタの活動を続けている意義があると実感している。</p> <p>ただ、ご家庭が願う理由の中の、「様々な体験・経験を通して、子どもの知る、好きに会えるきっかけになる、様々な体験・経験をさせてあげたい等」と言う点では、まだまだご家庭の想いに届いていない。</p> <p>だから、2024 年度からは色々な運動・スポーツを取り入れ、様々な体験・経験できる機会を提供できる環境を作りたい。</p> <p>※「アンケート項目②の集計と理由」別紙参照</p> <p>アンケート項目①とアンケート項目②からの「大きな社会課題として、主として、「時間的制約・経済的制約」で、習い事など、子ども達に様々な体験や経験をさせてあげたいが困難である 218 のご家庭、ミナスタの活動を必要としている 281 のご家庭の想いがある。</p> <p>「時間的制約・経済的制約」のそもそもの根本的な原因はありますが、今のミナスタができる事は、この「社会課題」や「ご家庭の想い」と向き合い、定期的かつ、様々な体験・経験を届けることが必要だと改めて感じている。</p>
<p>事業の目的や効果について</p>	<p>～ミナスタ運動教室～</p> <p>目的</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子ども達の健康促進や運動能力向上は狙いの一つではあるが、この幼児期は体を動かす楽しさを知る。 ② ミナスタ運動教室を一つのきっかけに継続的に運動・スポーツに関わってくれれば、健やかな成長が望める。 ③ スモールステップのカリキュラムで自己肯定感を育み、様々な事柄にチャレンジ出来るメンタリティー、諦めず努力する大切さを知るきっかけを見出せる。 ④ 定期的に子ども達を知る、学ぶ、様々な体験や経験をするきっかけ、機会の提供をする。 ⑤ 保育時間での慣れた環境・友達と一緒にできる、ご家庭としても助かる、安心できる活動を提供する。 <p>～近隣の保育園同士の架け橋～</p> <p>目的</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 普段とは違うお友達と関わる体験・経験を提供する。 ② 子ども達のコミュニティーの輪を広げる。 ③ 新たな友達とコミュニケーションを取る機会を作る事により、コミュニケーションを学べる。 ④ コミュニティーの輪を広げてあげる事により、小学校を迎えるにあたっての子ども達やご家庭での不安を軽減します。また、少しでも安心し楽しみに小学校の生活を迎えてもらいます。 <p>事業の効果</p> <p>これらを達成すれば、アンケート項目①とアンケート項目②からの大きな社会課題として、主として上がった、「時間的制約・経済的制約」で、習い事など、子ども達に様々な体験や経験をさせてあげたいが困難であるご家庭への「社会課題」に対応できる。</p>

	<p>また、様々な体験や経験をさせてあげたい等と願う「ご家庭の想い」にも答えられる。</p> <p>⇒子ども・子育て支援の取り組みへと繋がる。 ⇒運動・スポーツ活動などの復興へと繋がる。 ⇒子どもの健全育成へと繋がる。 上記3項目が繋がる事により、 ⇒よりよいまちづくりに繋がると信じている。</p>
事業の広報について	<p>(使用予定の媒体にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物 <input checked="" type="checkbox"/>ホームページ <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> Twitter <input checked="" type="checkbox"/>その他のSNS (Instagram) <input type="checkbox"/>市の広報紙 <input type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input type="checkbox"/>口頭にて伝達 <input type="checkbox"/>その他 ()</p>
今後の展望について	<p>① 「大きな社会課題」として、主として上がった、時間的制約・経済的制約がある、「習い事など、子ども達に様々な体験や経験をさせてあげたいが困難であるご家庭」や ミナスタを必要とし、様々な体験や経験をさせてあげたい等と願う「ご家庭の想い」に寄り添い、その想いを叶えてあげられる世の中にしたい。</p> <p>② 継続的な活動は日頃よりできているが、更なる「社会課題」や「ご家庭の想い」に、答えるために、ミナスタの目的・活動をご理解頂き、協力してくれる仲間、賛同して頂ける支援者様や支援企業様の力を募っていきます。 げんき基金に頼らずとも、独自で事業のステップアップ・活動拡充できるミナスタになる。</p>
事業の実施体制について	<p>ミナスタ運動教室 3名 その他 スタッフ 5名</p>

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
補助金収入	¥130,000	ミナスタにて負担(団体への寄附等、 団体資金から充当)
団体収入	¥87,952	
合 計	¥217,952	

支出

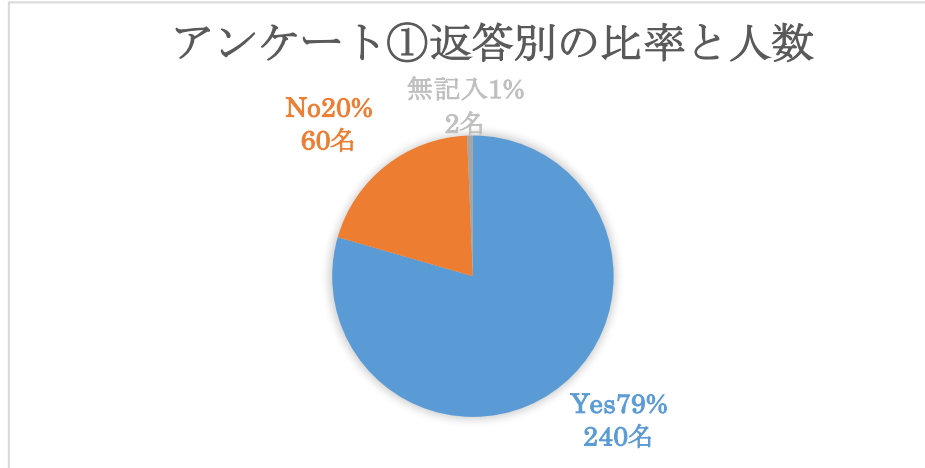
科 目	金 額	内 訳
印刷製本費	¥2,000	アンケート印刷代・用紙代 1000枚
保険料	¥40,000	賠償責任保険、団体総合補償制度費用保険
物品費	¥175,952	ストラックアウト2台 ¥19,800 テニスボール60 球 ¥11,795 野球ウレタンボール60球 ¥7,740 サッカーボール10球 ¥47,060 体操マット3枚 ¥23,997 折りたたみ式鉄棒2 ¥15,960 跳び 箱2 ¥49,600
合 計	¥217,952	

物品購入理由書

1	物品名	見積金額	使用頻度
	とび箱1台¥24,800×2つ	49,600	10保育園×3ヵ月＋高温時や天候不良時の室内運動
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	<p>ミナスタ運動教室の体操教室時に基本的には使います。保育園によっては鉄棒が園庭にあります。今年度は気温が上がり、室内運動に変更になったことが多かった。なので、体操教室時、高温時・天候不良時等の室内運動時に使います。人数や指導時間などに対して、円滑に進行する為に2つ必要とします。</p>		団体で所有し、事業の実施の際に継続して使用します。
2	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
3	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
4	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い

アンケート項目①の集計と理由

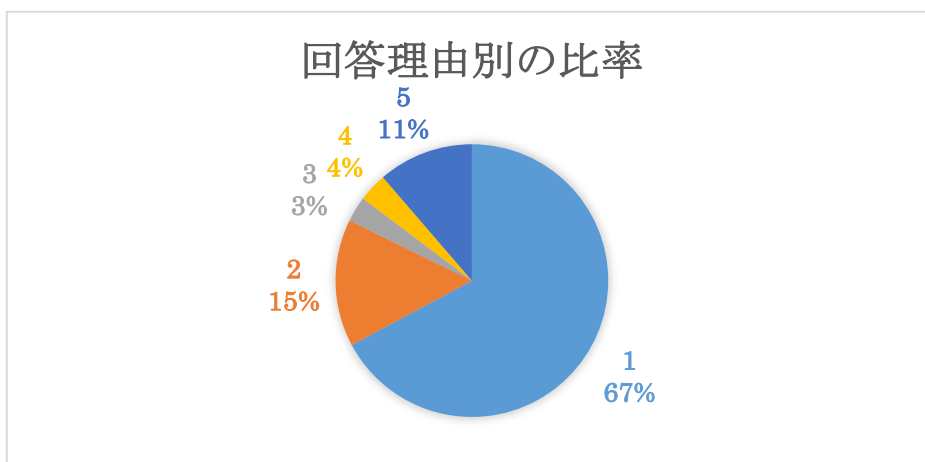
①	習い事など、子どもに様々な体験や経験をさせてあげたいが、困難である。	Yes No	※よろしければ理由をお聞かせください。
---	------------------------------------	-----------	---------------------



240名のYes理由

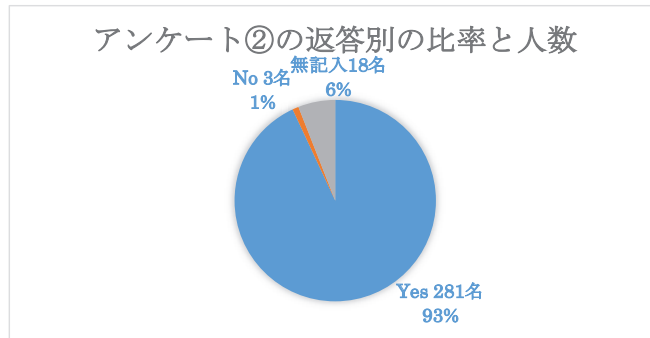
※複数回答がある為、合計の一致はしません。

番号	理由	人数	比率
1	時間的制約 (共働き、フルタイム労働、送迎不可等)	178	67%
2	経済的制約 (習い事等に出費する余裕が無い等)	40	15%
3	休日は家族時間を優先 (休日は家族時間にしたい等、)	8	3%
4	その他 (人見知り、甘え、心配、発達の遅れ等)	9	4%
5	無記入	30	11%



アンケート項目②の集計と理由

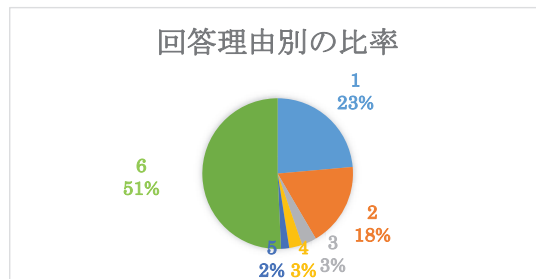
②	ミナスタのような活動や機会が子ども達には必要である。	Yes	※よろしければ理由をお聞かせください。
		No	



281名のYes理由

※複数回答がある為、合計の一致はしません。

1	様々な体験・経験を通して、子どもの知る、好きに出会えるきっかけになる、様々な体験・経験をさせてあげたい等	67	23%
2	保育時間での慣れた環境・友達と一緒にできるのは、保護者として助かるし、安心等	51	18%
3	運動が必要等	9	3%
4	色々な人との交流が必要	8	3%
5	その他 (必要そう、専門の先生だと助かる、費用がかからない等)	5	2%
6	無記入	144	51%



3名のNo理由

無記入

18名の無記入理由

1	ミナスタの活動を知らない、わからない等	11
2	空欄	4
3	その他 (やりたくない子には難しいのでは？どっちでも等)	3

市民活動げんき基金自動販売機 設置協力企業

対象の自動販売機にて飲み物を買くと、売り上げの一部が市民活動げんき基金へ寄附となります。

湘南ヤクルト販売株式会社

設置場所：茅ヶ崎市体育館（茅ヶ崎市十間坂三丁目 6 番 5 号）



対象となる自動販売機は、こちらのえぼし麻呂のデザインが目印です！

みなさまの寄附が
市民活動の応援に
つながっています！



ご協力いただき
ありがとうございます
ございます！